



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

要請番号( JL 239 - 11 - A - 31 )		調査者名: 岡山 香織			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ホンジュ ラス	職種 音楽 指導科目 (コード 6701 )	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Music 指導科目(英)			1 23 / 3	2 23 / 4
開発課題 その他					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 文化芸術スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Culture, Arts and Sports				
	2) 配属先名 (日本語) サンタロサデコパン市文化会館 (英語) Culture Center of Santa Rosa de Copan				
	3) 任地 コパン県サンタロサデコパン市 首都( テグシガルバ )から 西 方向 380 Km 主要都市( サンタロサデコパン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 7 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンタロサデコパン市の文化活動全般の企画運営を担当している。文化会館にはコンサートホール、音楽教室、美術教室、図書館等がある。活動資金は文化芸術スポーツ省、国際援助機関及び民間企業等より支援されている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者は、カウンターパート(木管専門)と共に12人の児童と吹奏楽バンド(小編成)を結成し、コンサートや依頼演奏を行った。音楽教室の対象は現在のところ8~17歳としているが、将来的には現地音楽講師の育成も視野に大人を対象としたクラスの開催も検討している。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 吹奏楽バンドの育成および吹奏楽器を用いた上記対象者への音楽クラスの実施 2. 配属先及び配属先と関連する周辺地域の文化会館等におけるピアノ、リコーダーを用いた音楽基礎クラスの実施				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 フルート3、クラリネット・アルトサクソ・ホルン各2、トランペット12、トロンボーン6、チューバ・バリトン各1、ドラムセット等パーカッション類、ピアノ40、リコーダー(アルト、ソプラノ)約50				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 館長 男性 40代、プロモーター 男性 40代 秘書 女性 50代、音楽講師 男性 20代 音楽講師 女性 20代、バレエ講師 女性 30代 掃除婦 女性40代		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( )		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) □ (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( )性別理由:( ) ・学歴(大卒 ) (音楽 ) 学歴理由:(要請条件に定めるため) ・経歴( ) ( ) 経歴理由:( ) ・音楽指導全般に渡って指導助言できること 理由:( ) 理由:( )				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車					x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(亜熱帯 ) 気温( 15-35℃位)		電気(□安定 ☑不安定 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)	
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 5 日

要請番号( JL 318-11-A-12)

調査者名:櫻井 国弘

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
エクアドル	職種 音楽 指導科目 (コード 6701)	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Music 指導科目(英)			1	23 / 3	年 月 から
				2	23 / 4	
3	24 / 1					

開発課題 地域社会の開発促進・基礎インフラ整備

配属概要	1)受入省庁名(日本語) NGOマノス・ウニーダス養護施設 (受入機関名)(英語) Foundation Manos Unidas-Recuperation Center
	2)配属先名 (日本語) NGOマノス・ウニーダス養護施設 (英語) NGO Foundation Manos Unidas-Recuperation Center
	3)任地 トウングラウア県ティサレオ市 首都( キト市 )から 南 方向 170 Km 主要都市( アンパト市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 障害者の自立支援、社会参加に貢献する目的で設立されたカトリック系養護施設。現在、知的障害を持つ乳幼児から20歳位までの障害者45名が在籍中。音楽療法・理学療法・言語療法を通しての身体及び知的発達を促し、生徒の自立支援に取り組んでいる。また、近隣集落を巡回し、施設に通えない障害者へのケアも行っている。スイスからの経済支援、平和部隊ボランティア(多職種)受け入れ実績あり。年間予算は約1万7千米国ドル。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同施設には、養護隊員2名が派遣され、主に音楽療法部門での協力活動を行ってきた。配属先では、音楽を通じての障害者教育は、他人との協調や情緒の発達を促し、身体能力の向上(手先の器用さ)などに有効であるとの判断をしているが、同分野での人材育成には、継続支援が必要であることから、3代目の隊員の要請へと繋がった。前任者2名の職種は養護であったが、今後、より多様な音楽的側面からの支援が望まれるため、音楽隊員の要請となった。	
	2)期待される具体的業務内容 施設内音楽教員として、以下の活動を行う。 1. 障害の程度に応じた音楽授業の計画・立案・実施を行う。 2. 音楽を通じて他人との協調性や身体能力を高められるような方法を紹介又は工夫する。 3. 施設が行う行事開催(音楽発表会、ダンス発表会)などに協力する。 4. その他、同施設運営に関する助言を行う。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 キーボード、ラジカセ、クラリネット、マラカスタンバリン、トライアングル、リコーダー、ピアノカ	
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 施設長:30代女性 養護教員2名:20代女性1名、50代女性1名 理学療法士1名:20代女性	5)業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( ) ( )

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許(音楽 )・性別( )性別理由:( )	・学歴(大卒 ) (音楽 )学歴理由:(楽器の活用範囲が広いため )
	・経験( ) ( )経験理由:( )	・ピアノ演奏、楽譜作成ができること 理由:(障がいの程度に合わせて合奏指導を行うため ) 理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	H	N	×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(山岳高地乾燥 ) 気温( 5-25℃位)	電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 27 日

要請番号( JL 336 - 11 - A - 03 )

調査者名: 高田 肇

国名	職種/指導科目 (コード 6701 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベネズエ ラ	職種 音楽 指導科目	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Music 指導科目(英)			2	23 / 4
				3	24 / 1
年 月 日 から					

開発課題 ベネズエラ その他 開発課題

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) NGO サンタクルス・デ・モーラ青少年交響楽団 (受入機関名)(英語) Friends of "Santa Cruz de Mora" Children & Youth Symph.Orchestra Fndtn.
	2)配属先名 (日本語) NGO サンタ・クルス・デ・モーラ青少年交響楽団 (英語) Friends of "Santa Cruz de Mora" Children & Youth Symph.Orchestra Fndtn.
	3)任地 メリダ州ピント・サリーナス市サンタ・クルス・デ・モーラ地区 首都( カラカス )から 南西 方向 680 Km 主要都市( メリダ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 音楽を通じた青少年育成を目的として2006年に創立された民間の交響楽団で、6~18歳の青少年が所属し、イベントやコンサート等を実施している。活動時間は午前の部が8:00~12:00、午後の部が14:00~19:30(土曜日は9:00~12:00)となっている。メリダ州ピント・サリーナス市やベネズエラ石油公社等から支援を受けており、年間の活動予算は約3万5千ボリバル(約8千2百米ドル。)である。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同楽団には200名もの青少年が登録されているが、州都にあるメリダ交響楽団等の外部団体から派遣されている者も合わせて20名足らずの教師で指導を行っており、慢性的教師不足に陥っている。そんな中、隊員1名が派遣され、ピアノを中心としつつ、楽譜の読み方やソルフェージュ等の指導に積極的に取り組んでいる。今後も生徒の音楽の基礎習得を支援しながら、同楽団のレベルアップを図ると共に、地域の青少年育成に寄与できる人材が引き続き求められている。
	2)期待される具体的業務内容 1. 同楽団のピアノクラスを担当する。 2. 楽譜の読み方やソルフェージュの指導を行う。 3. 可能な範囲でオーケストラ全体のアドバイスを与える。

要 請 概 要	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 グランドピアノ(ヤマハ)、チューバ、ドラム一式、大太鼓、小太鼓各1、トランペット、トロンボーン、シンバル各2、コントラバス、フルート、オーボエ各3、ホルン4、チェロ9、ビオラ12、バイオリン44等
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ピアノクラス生徒(22名程度、5歳~16歳) ピアノ教師(男1名、30歳代、教師暦5年程度)

要 請 概 要	5)業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( )	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	( )	( )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( )性別理由:( ) ・学歴(大卒 ) (業務関連分野) 学歴理由:(業務遂行上必要 ) ・経験(指導経験 ) (2年以上) 経験理由:(経験に基づいた的確な指導が求められるため ) 理由:( ) 理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯 ) 気温( 20-32℃位)	電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
地域	電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期( ●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期( ○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 22 日

要請番号( JL 424 - 11 - A - 01 )

調査者名: 伊藤 牧

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ヨルダン	職種 音楽 指導科目 (コード 6701 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	JOCV/SV 23 / 3
	職種(英) Music 指導科目(英)			2	24 / 1
				3	/
日系/短期等 年 月 から					
開発課題 障害者支援					

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 社会開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Social Development and Womens Affairs
	2) 配属先名 (日本語) NGO 慈善児童保護協会 (英語) NGO Charitable Childcare Association
	3) 任地 サイディーヤ 首都( アンマン )から 北東 方向 65 Km 主要都市( マフラック )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 社会開発省登録のNGOであり、障害児のリハビリと教育を中心に、孤児の教育、低所得者層への支援、地域社会へのさまざまな啓発活動等を行なっている。障害児のための養護学校を併設し、5歳から22歳までの知的障害、聴覚障害、視覚障害をもった生徒約70名が通っている。年間予算は約10万ドル。2005年に作業療法士としてJICAボランティアが活動した。その他、PeaceCorpsのボランティア受入れ実績がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同協会では障害児および孤児の情操教育の必要性を痛感しているが、音楽を教える教師がいなかったため今回の要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 障害児および孤児に音楽の楽しさを教える。楽器はなく、ボランティアには身の回りのものを利用して音楽を教えることとなる。ただし楽器が必要となった場合は、施設にてボランティアの要請にあわせて可能な範囲で購入する用意がある。サイディーヤはイスラム色の強い小さな村であるため、異文化での生活が苦にならない方の応募を期待したい。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし。	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 8名のヨルダン人教師(20代中心・大卒)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 ( ) ( )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許 ( ) ・性別 ( 女性 ) 性別理由:(ほとんどの教師が女性であるため )	・学歴 (大卒 ) ( ) 学歴理由:(学歴優先社会のため )
	・経験 (実務経験 ) (3年以上 ) 経験理由:(実践的な活動のため )	理由:( )
		理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(地中海性 ) 気温( 0-35℃位 ) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 1 月 5 日

要請番号( JL 424-11-A-02 )	調査者名: 菱田靖
------------------------	-----------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ヨルダン	職種 音楽 (コード 6701 )	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	/
	職種(英) Music 指導科目(英)			3	/
					年 月 から

開発課題 パレスチナ難民支援

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 外務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Foreign Affairs
	2)配属先名 (日本語) パレスチナ難民局 (英語) Department of Parestine Affairs
	3)任地 アンマン 首都( アンマン )から 東 方向 1 Km 主要都市( アンマン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) パレスチナ難民局 (DPA)はヨルダン国内におけるパレスチナ難民への支援を包括的に行う機関で、国連パレスチナ難民救済機構 (UNRWA)とともに、パレスチナ難民支援を担っている。それぞれの難民キャンプではUNRWAが教育・保健・障害者等への支援を実施している。JICAはパレスチナ難民女性職業訓練センターにおいて個別専門家を派遣している。

1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 ヨルダンの総人口の約6割がパレスチナ人でヨルダンの市民権を持っているが、キャンプ内の難民は特に貧しく、教育や就業の機会も限られている。UNRWAの運営する小中学校では、一般教科が重視され、音楽・体育・美術等の教育は十分に行われていない。また子供たちの余暇時間のための課外活動も行われていない。このような難民キャンプで暮らす子供たちを対象に、ボランティアは他職種のボランティアと協力しつつ、学校内外における芸術教育の指導スキルの向上をめざす。子供たちが自らを表現できるような関心と能力を育てることを目的とする。

2)期待される具体的業務内容  
 1. 音楽の指導  
 ・音楽の授業計画の作成指導  
 ・教材作成指導  
 ・音楽の授業のサポート  
 ・音楽会などのイベントの計画と実行  
 2. 課外活動の推進  
 ・他職種ボランティアと協力して課外活動を行う

3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 最小限の楽器(鍵盤ハーモニカや打楽器)がある学校と全くない学校がある。

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 音楽教師 男性2名 女性2名 大卒 音楽専攻 3名 教育学専攻 1名 20歳代から40歳代	5)業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 ( ) ( )	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (V^N: B) <input type="checkbox"/> (V^N: )
--	--	---

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)  
 ・教諭免許( )・性別(女性)性別理由:(女子校で活動するため)  
 ・学歴(大卒)( )学歴理由:(同僚が大卒であるため)  
 ・経験(社会経験)(2年以上)経験理由:(教員として社会性が必要なため)  
 ・教諭免許(音楽または小学校教諭)理由:( )  
 理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車		P	◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(地中海性) 気温( 0-35℃位) 電気(安定 不安定 なし)  
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 7 月 6 日

要請番号( JL 424 - 11- A- 17)

調査者名:伊藤 牧

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ヨルダン	職種 音楽 指導科目 (コード 6701 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Music 指導科目(英)			1	23 / 3	年 月 から
				2	24 / 1	
3	/					

開発課題 教育改善

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 社会開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Social Development
	2)配属先名 (日本語) NGO アルフセイン孤児院 (英語) NGO Orphanage Al Hussein
	3)任地 マルカ 首都( アンマン )から 東 方向 5 Km 主要都市( アンマン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) この施設は王立NGOが運営している男子孤児院であるが、主に崩壊家庭から保護された子どものための施設である。6歳から18歳までの男子約60人が生活しており、6-12歳が地域の小学校に、13-18歳が地域の陸軍学校に通っている。10カ国以上の外国政府やヨルダン企業または篤志家からの寄付により、子どもひとりあたり6万円強の予算を確保している。英米の学生が短期ボランティアとして英語を教えている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 施設で保護されている子供たちは精神的に支援を必要としており、学校から戻ってからCarerと呼ばれる専門職や心療士によるサポートが実施されている。ボランティアには課外活動として6-12歳の子供たちに音楽を教え、子供たちの豊かな情操を育み、発表会等を実施して達成感を与えることが求められている。	
	2)期待される具体的業務内容 1. 施設にある楽器を使って子供たちに音楽を教える 2. 演奏発表会を実施する 3. 他のCarerと共同で情操教育のプログラムを策定する	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 キーボード、アコーデオン、鍵盤ハーモニカ等	
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 施設長(男性) Carer10名(男性・女性、大卒)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 ( ) ( )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許(音楽 )・性別(男性) 性別理由:(男子施設のため ) ・学歴(大卒 ) ( ) 学歴理由:(同僚が大卒以上のため ) ・経験(実務経験 ) (3年以上 ) 経験理由:( ) 理由:( ) 理由:( )	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(地中海性気候 ) 気温( 0-40℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 6 日

要請番号( JL 424 - 11 - A - 18 )		調査者名: 加藤眞佐美			
国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期	
ヨルダン	職種 音楽 (コード 6701 )	(長期のみ)	◎ 2 年	1	23 / 3
	指導科目	○ 新規	○ 1 年	2	24 / 1
	職種(英) Music 指導科目(英)	◎ 交替 2 代目	○ ヶ月	3	/
派遣希望時期 JOCV/SV 日系/短期等 年 月 日 から					
開発課題 パレスチナ難民の生計の向上					
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 外務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Foreign Affairs				
	2) 配属先名 (日本語) パレスチナ難民関連局 国連パレスチナ難民救済機構 (英語) Department of Palaestine Affairs/ The United Nations Relief works Agency				
	3) 任地 アンマン 首都( アンマン )から 東 方向 2 Km 主要都市( アンマン )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) パレスチナ難民局(DPA)は、ヨルダン国内におけるパレスチナ難民への支援を包括的に実施する機関で、UNRWA(国連パレスチナ難民救済機構)とともに、パレスチナ難民支援をおこなっている。それぞれの難民キャンプ内では、UNRWAが教育・保健・女性・障害者などの支援を実施している。JICAは技術協力プロジェクト「パレスチナ難民のための能力開発プロジェクト」を実施中。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ヨルダンの総人口の約6割がパレスチナ難民で、ヨルダンの市民権を持っているが、キャンプ内にとどまる難民は特に貧しく、教育や就業の機会が限られている。キャンプ内でUNRWAが運営する小中学校では、一般教科が重視され、音楽・体育・美術などの表現に関わる教育は、十分に実施されていない。また、子ども達の余暇時間のための課外活動も殆ど実施されていない。このような難民キャンプで暮らす子ども達を対象に、ボランティアは他のボランティアと協力しつつ、学校内外における芸術教育の指導スキル向上を目指す。子ども達が自分自身を表現できるような関心と能力を育てることを目的とする。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. キャンプ内の女子校で、カウンターパートの音楽教師のアシスタントティーチャーとして、授業を行いながら、指導スキルの向上を目指す。特にクラス単位での合奏や合唱の指導を中心におこなう。2. 学校の長期休暇(夏期休暇および冬季休暇など)に、UNRWA EDC(Education Development Center:教育開発センター)でスーパーバイザー(教科指導主任)と他の音楽教育ボランティアと協力して、音楽教師に対するTT(Teacher's Training)の企画・実施をおこなう。3. 他の音楽教育ボランティアおよびそのカウンターパートらと協力して、音楽会などのイベントの企画・実施をおこなう。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 リコーダー(50本)現地支援経費で購入 小楽器(アコーディオン、コンガ、鍵盤ハーモニカなど)				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 音楽教師:女性 20代 大卒 EDC 指導教科主任:女性 40代 大卒 指導対象者:女子小中学生(主に8歳~15歳)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(音楽 )・性別(女性)性別理由:(活動先が女子校のため) ・学歴(大卒 ) ( ) 学歴理由:(同僚の多くは大卒であるため) ・経歴(実務経験 ) (3年以上) 経歴理由:(実際に授業を担当するため経験が必要) 理由:( ) 理由:( )				
活動用交通手段の必要性 ○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			研修等	形態	現職教員特別参加制度 ◎
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況	気候(地中海性 ) 気温( 0-40℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 14 日

要請番号( JL 475 - 11 - A - 08 )

調査者名: 小田原 健

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
チュニジア	職種 音楽 指導科目 (コード 6701 )	●新規	●2年	1 23 / 4	年 月 から
ア	職種(英) Music 指導科目(英)	○交替	○1年	2 /	
		代目	○ヶ月	3 /	
開発課題 チュニジア その他開発課題					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 文化及び文化遺産保護省 (受入機関名)(英語) Ministry of Culture and Protection of Heritage				
	2) 配属先名 (日本語) モナステール音楽、ダンス学校 (英語) Regional Institute of Music and Dance, Monastir				
	3) 任地 モナステール 首都( チュニス )から 南東 方向 150 Km 主要都市( モナステール )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) モナステール音楽・ダンス学校はチュニジア文化省の管轄下で、生徒の美的感覚と情操のために様々なレベルの教育を実施し、具体的な生徒の芸術的表現に欠かせない楽器も提供している。今後より多くの生徒達にこの教育を広げる予定であり、これらの音楽教育を通じて規律についての教育も併せて行っている。年間予算約280万円				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) この学院のピアノ教育は、作曲、演奏、及び鑑賞のために行っている。日本人のボランティアの派遣により、特に児童に対するピアノ教育において創造的な教育が可能となる。また、学院創立祭の際は、児童とボランティアによるピアノのアンサンブルを行うことにより、児童が演奏の楽しみを享受することが出来る。さらにボランティアとチュニジア人教師の間で技術の交換がなされることも期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 優秀なピアノ演奏技術を持つ日本人ボランティアの参加により、 ・特に上級者に対する指導が可能となる。 ・初級者の人数を増やすことにより底辺の拡充を図る。 ・発表会を充実したものにする。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 近代的なピアノ専用ルーム、ピアノ4台				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ピアノ教師5名		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( )</li> <li>・学歴 (大卒 ) (音楽 ) 学歴理由:(高度な技術が求められるため )</li> <li>・経験 ( ) ( ) 経験理由:( )</li> <li>・ピアノの指導経験(2年以上) 理由:(高度な技術が求められるため )</li> </ul>				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(地中海性気候 ) 気温( 5-35℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし				





平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 14 日

要請番号( JL 475 - 11 - A - 09 )

調査者名: 小田原 健

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
チュニジア	職種 音楽 (コード 6701 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年	1	23 / 4
	指導科目		○ 1 年	2	/
	職種(英) Music 指導科目(英)		○ ヶ月	3	/

開発課題 チュニジア その他開発課題

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 文化及び文化遺産保護省 (受入機関名)(英語) Ministry of Culture and Protection of Heritage
	2) 配属先名 (日本語) マハディア音楽、ダンス学院 (英語) Regional School of Music and Dance of Mahdia
	3) 任地 マハディア 首都( チュニス )から 東南 方向 240 Km 主要都市( マハディア )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マハディア音楽・ダンス学院はチュニジア文化省の管轄下で、生徒の美的感覚と情操のために様々なレベルの教育を実施し、具体的な生徒の芸術的表現に欠かせない楽器も提供している。これからより多くの生徒達にこの教育を広げる予定であり、これらの音楽教育を通じて規律についての教育も併せて行っている。バレエ隊員の派遣実績あり。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) この学院のバイオリン教育は、作曲、演奏、及び鑑賞を目的としている。日本人のボランティアの活動により、特に児童に対するバイオリン教育分野でのレベル向上が期待される。また児童に対し創造的な教育が可能となる。学院創立祭の際は、ボランティアと児童がバイオリンのアンサンブルを行うことにより、児童が演奏の楽しさを享受することが出来る。さらにボランティアとチュニジア人教師の間で技術の交換がなされることも期待されている。
	2) 期待される具体的業務内容 優秀なバイオリン演奏技術を持つ日本人ボランティアの参加により、 ・特に上級者を指導できる教師が少ないため、この分野の指導が可能となる。 ・初級者の人数を増やすことにより底辺の拡充を図る。 ・発表会を充実したものにする。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 近代的な専用ルーム
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル バイオリン教師(20代2名) レベルはあまり高くない。

5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------------------------	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴(大卒 ) (音楽 ) 学歴理由:(高度な技術が求められるため ) ・経歴( ) ( ) 経歴理由:( ) ・バイオリンの指導経験(2年以上) 理由:(高度な技術が求められるため ) 理由:( )
------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(地中海性気候 ) 気温( 5-35℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
地域	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

要請番号( JL 554 - 11 - A - 07 )

調査者名: 川喜田 英博 乗松 一久

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ジンバ エ	職種 音楽 指導科目 (コード 6701 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Music 指導科目(英)			1 23 / 3	年 月 から
				2 23 / 4	
				3 24 / 1	

開発課題 ジンバブエ その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher and Tertiary Education
	2) 配属先名 (日本語) ジンバブエ音楽学校 (英語) Zimbabwe College of Music
	3) 任地 ハラレ市 首都(ハラレ)から 東 方向 2 Km 主要都市(ハラレ)までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ハラレ音楽学校は、民間組織の団体であるが、高等教育省の学習過程も実施している。西洋古典音楽、ジャズ、アフリカン音楽、ダンス等の分野の楽器演奏指導、先生の養成等のプログラムを行っている。また、コミュニティでの音楽指導、学習を企画運営している。年間予算は、4千万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ハラレ音楽学校では、指導を行う教師の人数が不足している。さらに、高度なレベルの教育を指導できる教師が不足している。過去に、ボランティアの派遣があり評判は、とてもよい、しかしながら、2008年3月の選挙後、ボランティアの派遣が中止されている。よってボランティアの派遣の再開に対して、音楽教師派遣が、強く要望された。
	2) 期待される具体的業務内容 ・西洋古典音楽の歴史について、生徒に講義をすること。 ・講義を受けた学生が、十分な西洋古典音楽の時代による特徴について説明できること。 ・時代別の指揮者による古典音楽の発展を、学生が理解すること。 ・西洋古典音楽の音楽理論とアフリカン音楽の違いを理論的に学生が理解できること。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 スタインウェイ グランド ピアノ
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 音楽学校校長、副校長(音楽大学卒)、その他講師(ジャズ、音楽教師)
	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) ( )
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( ) ・学歴 (大卒 ) (音楽 ) 学歴理由:(指導に十分な知識が要求される。 ) ・経験 (指導経験 ) (5年以上 ) 経験理由:(講師として、教育技術が要求される。 ) 理由:( ) 理由:( )
------------------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(温帯夏雨気候 ) 気温( 5から25℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

調査者名: 川喜田 英博 乗松 一久

要請番号( JL 554 - 11 - A - 08 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ジンバブエ	職種 音楽 (コード 6701 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目			1	23 / 3
エ	職種(英) Music			2	23 / 4
	指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 ジンバブエ その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher and Tertiary Education
	2) 配属先名 (日本語) ジンバブエ音楽学校 (英語) Zimbabwe College of Music
	3) 任地 ハラレ市 首都(ハラレ)から 東 方向 2 Km 主要都市(ハラレ)までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ハラレ音楽学校は、民間組織の団体であるが、高等教育省の学習過程も実施している。西洋古典音楽、ジャズ、アフリカン音楽、ダンス等の分野の楽器演奏指導、先生の養成等のプログラムを行っている。また、コミュニティでの音楽指導、学習を企画運営している。年間予算は、4千万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ハラレ音楽学校では、指導を行う教師の人数が不足している。さらに、高度なレベルの教育を指導できる教師が不足している。過去に、ボランティアの派遣があり評判は、とてもよい、しかしながら、2008年3月の選挙後、ボランティアの派遣が中止されている。よってボランティアの派遣の再開に対して、音楽教師派遣が、強く要望された。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・ジャズとは、何かを指導する。 ・ジャズ音楽のいろいろなスタイルについて指導する。 ・ジャズ演奏のインプロヴィゼーションを指導する。 ・ジャズ音楽のいろいろなスタイルを演奏指導する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 スタインウェイ グランド ピアノ	
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 音楽学校校長、副校長(音楽大学卒)、その他講師(ジャズ、音楽教師)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴(大卒) (音楽) 学歴理由:(指導に十分な知識が要求される。) ・経験(実務経験) (5年以上) 経験理由:(講師として、技術が要求される。) 理由:( ) 理由:( )
------------------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地 気候(温帯夏雨気候) 気温(5から25℃位) 電気(□安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 □なし)
況域 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 □なし)

平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 28 日

調査者名:高橋 正敏

要請番号( JL 630 - 11 - A - 06 )

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モザン ビーク	職種 音楽 指導科目 (コード 6701 )	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ヶ月	1	23 / 4
	職種(英) Music 指導科目(英)			2	/
			3	/	年 月 から

開発課題 モザンビーク その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) シバタ初等教員養成校 (英語) Institute of Teacher Training - Chibata				
	3) 任地 マニカ州シモイオ 首都( マプト )から 北 方向 1135 Km 主要都市( シモイオ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 前期中等教育修了者を対象に、小学校教諭を要請する学校。初等教育においては就学率の大幅な改善が実現された一方で、教員不足、無資格教員の採用が続いており、2007年度から課程が1年間に短縮され、普通科と英語科の2コースが実施されている。教員約40名、生徒約400名、年間予算は、約1000万円。同校校舎は日本の無償資金援助で2007年に建設された。協力隊員1名(平成21年度派遣、音楽)が活動中。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国では、過去に音楽の授業を受けたことのある教員は少なく、特に音楽の授業は理論指導が中心である。当校には、日本の援助で複数の楽器が配置されているが、実際にそれを使って指導できる教員がいない。ボランティアの派遣により、初等教育に活かせる授業のアイデアと経験を共有し、同校の音楽教育、初等教育における情操教育の質を高めることを目的として要請が上げられた。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 音楽教育法の授業を担当する。(理論、実技-初歩レベル) 2. 教材開発や備品の管理を行う。 3. 既存のカリキュラムを検討し、環境や生徒の能力に即した授業案を提言する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室、ピアノ、マリンバ、ギター、トランペット、打楽器				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員: 25~60歳(大卒レベル) 音楽教員: 2名(理論および歌唱指導が可能) 学生: 17~30歳(音楽の授業を受けたことはほとんどない)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( )性別理由:( ) ・学歴(大卒)(音楽)学歴理由:(教員養成校の指導には必須) ・経験(指導経験)(2年以上)経験理由:(教員養成校の指導には必須) ・教諭免許(音楽または小学校教諭)理由:( )理由:( )				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(亜熱帯)気温( 15-35℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 7 月 6 日

要請番号( JL 636 - 11 - A - 19 )

調査者名: 本田 哲也

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ルワンダ	職種 音楽 (コード 6701 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Music 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 貧困削減

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 内務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Internal Security
	2) 配属先名 (日本語) ルワンダ国家警察 (英語) Rwanda National Police
	3) 任地 キガリ市 首都( キガリ )から 北 方向 0 Km 主要都市( キガリ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2000年6月にルワンダ国家警察が設立され、現在、警察官は全国の総数で約10,000名いる。プラスバンド隊は2002年に設立され、メンバーは約120名おり、各地で行われる式典などで演奏を行っている。プラスバンド隊への特別な予算枠はない。外国の援助はない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2002年にプラスバンド隊が設立され、メンバーは120名になるが、楽器と技術力不足から、1隊しか編成されていない。また、日常的な楽器のメンテナンスも十分に行われていない。プラスバンド隊の技術の向上及びセオリーの授業、また楽器のメンテナンスなどを通じて、継続的な活動が行えるよう、要請がなされた。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・ プラスバンド隊の技術向上のための指導を行う。 ・ セオリー(楽典レベル)の教授を行う。 ・ 日常的な楽器のメンテナンスを指導する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 トランペット、トロンボーン、チューバ、クラリネット、サクソフォン(アルト、ソプラノ、テナー、シンバル、スーザフォン、スネアドラム、ギター、グロックンシュピール、ユーフォonium)	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚指導員2名: 25歳~35歳(男性) プラスバンド隊: 120名(内11名は女性)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) ( )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・ 教諭免許 ( ) ・ 性別 ( ) 性別理由: ( )	・ 学歴 (短大卒) (音楽) 学歴理由: (セオリーの指導も求められるため)
	・ 経験 (指導経験) (2年以上) 経験理由: (プラスバンド隊への指導を行うため)	理由: ( )
		理由: ( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯性気候) 気温( 15-30℃位)	電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
地域	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 21 日

要請番号( JL 139 - 11- A- 01 )

調査者名: 高木哲也

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
サモア	職種 美術 指導科目 (コード 6703 )	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Fine Arts 指導科目(英)			2	23 / 4
			3	24 / 1	年 月 から
開発課題 職業訓練					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 財務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Finance				
	2) 配属先名 (日本語) NGO BEN美術学校 (英語) NGO Beautiful Expression of Nature				
	3) 任地 アピア市レラタ 首都( アピア市中心部 )から 南東 方向 2 Km 主要都市( アピア市中心部 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、2000年に設立されたNGO方式の美術学校である。美術を通じた青少年の育成、職業訓練を実施している。主な指導内容は、基礎美術、木彫り、ステンドグラス、絵画、モザイク、基石デザイン、看板制作等である。現在までに2代に渡り協力隊員を派遣してきた。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在、校長が学校全体の運営に関するすべての業務を担当している。生徒に対するデッサン、絵画についての指導が十分でないため、現在協力隊員がこの部分を重点的に指導を行っている。将来的には卒業生の優秀な者を同校の講師や他の学校の美術教師として活動できるような人材へ育成したい意向である。そのためには、協力隊員による継続した指導が必要なため、今回の継続要請となった。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・生徒に対するデッサン、絵画の授業を受け持つ。 ・学校の制作・販売物である木彫やデザイン等についてのアドバイス。 ・必要に応じて生徒へのパソコン指導(PC基本操作、フォトショップ)を実施する。 ・生徒が制作した作品の学校ギャラリーにおける展示・販売促進に関するアドバイス。 ・その他、校長に依頼された活動。 実際の活動の詳細については、赴任後に校長、隊員との協議に基づき、本人の適正等を考慮した上で決定される。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、スキャナー、電動丸鋸、電動鉋、ノミ、絵の具、筆等。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長(男性、40代、日本の美術専門学校への留学経験あり) 指導対象生徒(14~21歳)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 (サモア語)		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴(大卒 ) (美術 ) 学歴理由:(デッサン、絵画の基礎を指導するために必要 ) ・経験(指導経験 ) (2年以上 ) 経験理由:(実際に授業を受け持つのに必要 ) 理由:( ) 理由:( )				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車				N	×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(熱帯海洋性 ) 気温( 25-32℃位)		電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)	水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)	
	電話(☐インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)				



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 28 日

要請番号( JL 630 - 11 - A - 05 )

調査者名: 高橋 正敏

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
モザン ビーク	職種 美術 指導科目 (コード 6703 )	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年	1	23 / 4
	職種(英) Fine Arts 指導科目(英)		○1年	2	/
			○ヶ月	3	/
JOCV/SV 日系/短期等 年 月 から					

開発課題 モザンビーク その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) シブウトウイネ初等教員養成校 (英語) Institute of Teacher Training in Chibututuine
	3) 任地 マプト州マニサ郡シブウトウイネ 首都( マプト )から 北 方向 75 Km 主要都市( マプト )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 前期中等教育修了者を対象に、小学校教諭を要請する学校。初等教育においては就学率の大幅な改善が実現された一方で、教員不足、無資格教員の採用が続いており、2007年度から課程が1年間に短縮され、普通科と英語科の2コースが実施されている。教員約40名、生徒約200名、年間予算は、約1250万円。協力隊員(平成21年度派遣)が活動中。2011年から2年課程に変更予定。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当校の美術教育においては、教材不足やカリキュラムの不備、教員の経験・アイデア不足のために、学生が素材や技術について十分に学ぶことができず、質の向上が求められている。隊員による学生への指導ならびに教員との情報共有を通じて、同校の美術教育の質を高めることを目的として要請が上げられた。 前任者は陶芸を中心に、窯の建築、制作指導を行っている。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 配属先スタッフと協力し、既存の教科書に沿って授業を行う。 a) 陶芸を中心とする制作指導 b) 木工、金属、織、紙、型の制作指導 2. 作業場や備品の管理。 3. 既存の指導内容を検討し、環境や生徒の能力に即したコース改善を提言する。 4. 陶芸窯の改良、焼成の指導をする。

要 請 概 要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 電動ロクロ1台、手ロクロ4台、アナログ陶芸用温度計、陶芸窯(薪焼成)
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 工芸教員 1名(20代、専門学校卒) 美術教員 1名(30代、現在大学在学中) 生徒は18~30歳、中学校卒業レベル、美術の経験・知識はほとんどない。

要 請 概 要	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	-------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別(男性)性別理由:(配属先が強く希望しているため) ・学歴(大卒)( )学歴理由:(教員養成校の指導には必須) ・経験(指導経験)(2年以上)経験理由:(生徒への指導の際、ボランティア本人の作陶理由:(技術が必要な為) ・陶芸経験者理由:( ・教諭免許(美術又は工芸)理由:(
------------------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(亜熱帯) 気温(15-35℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期( ●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期( ○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 6 日

要請番号( JL 130 - 11 - A - 04 )

調査者名: 上田 博之

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
トンガ	職種 珠算 (コード 6752 ) 指導科目	○新規	●2年	1 23 / 4	年 月 から
	職種(英) Abacus 指導科目(英)	●交替	○1年	2 24 / 1	
		4代目	○ヶ月	3 /	
開発課題 基礎教育の改善					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育・女性・文化省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Women's Affairs and Culture				
	2) 配属先名 (日本語) エウア教育局初等教育課 (英語) Eua Primary Education Office				
	3) 任地 エウア島オホヌア村 首都(ヌクアロファ)から南方向 30 Km 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 0.2 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エウア初等教育課は島内の公立小学校6校を管轄し、離島教育の障害を解消、平等な教育機会の提供、教育レベルの向上を目的とする教育省の下部機関であり、小学校運営全般、監督・調整業務を担う。職員はオフィサー2名。エウア島の全教員は35名及び全児童数は約800名。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) トンガは算数の基礎学力向上を目的として、初等教育(小学校3、4、5年生)に珠算教育を導入しており、トンガ教育改革事業(TESP)で取り組む算数教材の新カリキュラムには珠算が組み込まれている。過去2代珠算隊員を派遣し、22年度1次隊では小学校教諭隊員を派遣し、珠算教育のレベル向上を推進してきた。算数教育の有効なツールのひとつとして珠算教育指導支援が求められるほか、珠算教育を中心とした基礎算数能力強化を視野に入れた協力が期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ①エウア島の6小学校を対象とした算数現職教員への巡回指導(珠算) ②珠算教育における教材開発および改善への取り組み ③珠算競技会の企画・運営支援 ④エウア島の現職教員を対象とした算数教育(教材開発、巡回指導)、研修会の企画・運営支援				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ソロバン(300丁)、指導用大ソロバン、練習問題集、教師用指導書、コピー機				
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 初等教育オフィサー: 男性、局長、50歳代 巡回先小学校教諭(男女、20歳~60歳代)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴( ) ( ) 学歴理由:( ) ・経歴( ) ( ) 経歴理由:( ) ・珠算2級 理由:(児童や教師へ珠算の指導を行うため) ・小学校教諭免許もしくは大卒(教育学部) 理由:(現職教員への指導が含まれるため)				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ○単車 ●自転車					◎
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(17-30℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし				





平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 20 日

要請番号( JL 006 - 11 - A - 07 )

調査者名: 間澤 友紀子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インドネ シア	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 4	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	24 / 1	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 その他

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) 国立ガネシャ教育大学 (英語) The State University of Ganessa
	3) 任地 バリ州 プレレン県 シンガラジャ市 首都( ジャカルタ )から 東 方向 1000 Km 主要都市( デンパサル )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国立ガネシャ教育大学は教育、言語芸術、社会、数学、工学、スポーツの6学部からなる生徒数約8500人、教員数約350人の総合大学である。言語芸術学部にはインドネシア語、英語、観光英語、バリ語、日本語、芸術の6つの学科がある。日本語学科は2006年9月に3年制で開設され、2011年9月からは4年制に移行することが決定された。日本語学科の学生数は約200人、教員は6人である。(内2人は日本に留学中)

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在活動中の2代目隊員は、生徒への直接指導、教員に対する教授法指導など行っている。 6名の教員のうち2名は日本に留学しており、現在4名体制であるが、4年制移行に伴い、通常の授業数が増え、論文指導が加わるものの増員は予定されておらず、教員の不足状態が続く。4年制移行にあたり、シラバスやカリキュラムを整える必要もあり、引き続き隊員の派遣が要請された。
	2) 期待される具体的業務内容 ①授業を担当し、学生に対し直接指導を行う。 ②教員に対する教授法の指導を行う。(日本語検定対策含む) ③学生に対し論文の要旨、構成についてアドバイスする。(論文は要旨のみ日本語で作成する予定である) ④日本語教育に関係する日本文化の紹介を行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、プロジェクター、各種日本語テキスト
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員6名 N1レベル2名、N2レベル3名、N3レベル1名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( ) ( )
6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・ 教諭免許 ( ) ・ 性別 ( ) 性別理由: ( )
	・ 学歴 (修士 ) (業務関連分野) 学歴理由: ( )
	・ 経歴 (実務経験 ) (3年以上) 経歴理由: (配属先からの要請事項 理由: ( ) 理由: ( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯 ) 気温( 25~30℃位℃位)	電気(□安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 □なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

要請番号( JL 006 - 11- A- 16 )

調査者名: 間澤 友紀子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目 日本語教師	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	2			23 / 4	
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英) Japanese Language Instructor			3	24 / 1

開発課題 インドネシア その他開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2) 配属先名 (日本語) 国立ジャカルタ大学 (英語) The University of Jakarta
	3) 任地 ジャカルタ特別州 首都( ジャカルタ )から 東 方向 0 Km 主要都市( ジャカルタ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ジャカルタ東部にある7学部(教育、言語・芸術、社会、数学・科学、工学、体育、経済)を持つ学生数約16000名の国立総合大学であり、言語・芸術学部にはインドネシア語、英語、フランス語、ドイツ語、アラビア語、日本語、美術、舞踊、音楽の9学科がある。日本語学科(学生250名、講師10名)は教育色が強く、多くの学生は中等教育機関の教師になることを目標としている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2006年に4年制に移行し、2009年9月からは4学年が全てそい学生数約250名となった。多くの学生は中等教育機関の教師になることを目標としていることから、講師陣の更なる日本語能力向上を目指し、初代SVに引き続いてのJICAからのボランティア派遣を希望し今回の要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・ 学生への授業実施(8コマ(100分)/週)及び論文作成のアドバイス(論文は要旨のみ日本語で作成する) ・ 講師に対する日本語教授法のワークショップ実施 ・ 講師、学生に対する日本文化の紹介	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 共用PC3台、CDラジカセ、LCDプロジェクター、OHP、各種日本語テキスト	
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学科長1名(女性40代)、副学科長1名(女性30代) 常勤講師11名(うち2名進学中)非常勤講師8名(日本語検定資格(N1, N2, N3レベル))	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・ 教諭免許 ( ) ・ 性別 ( ) 性別理由:( ) ・ 学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由:(高等教育機関のため:分野は日本語教育関連) ・ 経験 (実務経験) (3年以上) 経験理由:(大学で求められる最低レベル) ・ 日本語教授法 理由:( ) 理由:( )
------------------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)	
概地 況域	気候(熱帯雨林気候) 気温( 25~30℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期( ●JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期( ○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 23 日

要請番号( JL 018-11-A-05 )		調査者名: 北井 澄枝				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
タイ	職種 日本語教師 (コード 6852 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	23 / 4	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	24 / 1	
指導科目(英)	3	/				
開発課題 産業振興のための基盤整備(人材育成・制度整備)						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education					
	2) 配属先名 (日本語) プラックデーエン ピッタヤコム中高校 (英語) Pluakdaeng Phitthayakhom School					
	3) 任地 ラヨーン県プラックデーエン郡 首都( バンコク )から 南東 方向 180 Km 主要都市( ラヨーン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は1972年に設立された公立中高一貫校で生徒約1900名、教師約70名が在籍している。外国語は英語、中国語、日本語があり、日本語は中学2年生と高校1年生から3年生までの約150名が学んでいる。同校の日本語教育は1993年より開始されているが、選択必修科目として本格的に開始されたのは2006年。1名のタイ人教師により授業は週12コマと日本語クラブ週1コマが実施されている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校のタイ人教師は、国際交流基金の日本語教師養成講座(10か月)の研修を2008年に修了しているが、日本語教師としての経験はまだ浅く(英語教師経験は13年)、日本語会話もそれほど流暢ではない。校長が教育熱心で、かつ、教師も意欲的であり、同校での日本語教育の充実を図るため今回の要請となった。 ボランティアはタイ人教師とともに、日本語の授業、日本語クラブにおいて生徒に直接指導することに加え、タイ人教師の日本語能力向上に協力することが求められている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・日本語の授業をタイ人教師とともに担当し、特に発音、漢字などの指導を行う。 ・日常の授業や日本語クラブ、また日本語キャンプ(文化祭)において、日本文化を紹介し、日本に対する理解と学習意欲を高める。 ・学生がスピーチコンテストに出場するための指導と協力を行う。 ・日常の会話や授業を通じて、同僚の日本語教師の日本語能力の向上を図る。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、(副教材として)日本語の教え方スーパーキット(アルク)等、テレビ、パソコン					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 外国語教師13名の内、タイ人日本語教師1名、女性、30代、日本語会話レベル初級。 外国籍教師は中国人ボランティア1名		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) タイ語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴(大卒)( ) 学歴理由:(学校教師として必要なため) ・経歴( ) 経歴理由:( ) ・日本語教授法 理由:(日本語教育を行うための必須条件) 理由:( )					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					◎	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地 況域	気候(熱帯モンスーン) 気温( 22~38℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 7 月 23 日

要請番号( JL 018 - 11- A- 06 )

調査者名: 北井 澄枝

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
タイ	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			1	23 / 4	年 月 から
				2	24 / 1	
3	/					

開発課題 産業振興のための基盤整備(人材育成・制度整備)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) ウィッチェンマツ 中高校 (英語) Wichienmatu School
	3) 任地 トラン市内 首都( バンコク )から 南西 方向 850 Km 主要都市( トラン )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は1915年に設立された公立中高一貫校で生徒約2500名、教師約110名が在籍している。外国語は英語、中国語、フランス語、日本語があり、日本語は高校1年生から3年生まで約75名が学んでいる。同校の日本語教育は2001年より選択必修科目として開設され、1名のタイ人教師により授業は週22コマ、日本語クラブ週1コマが実施されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校のタイ人教師は化学の教師であったが、日本への2年間の留学後、国際交流基金の日本語教師養成講座(10か月)の研修を修了し日本語教師となった。日本語会話レベルは中級。日本語教師歴は9年。教師と生徒の学習意欲が高く、日本語教育だけでなく、日本文化の紹介やそれに関わるイベントの実施協力が求められている。更に、タイ人教師自身も会話能力の向上を目指しており、日常会話を通じて助言が求められている。 2009年5月から2010年3月まで、JENESYS若手日本語教師派遣プログラムにより、1名の日本人教師が活動を行っていた。
	2) 期待される具体的業務内容 ・日本語の授業をタイ人教師とチームティーチングで実施し、特に会話などの日本語指導を行う。 ・授業や日本語クラブ、日本語キャンプ(文化祭)において、日本文化を紹介し、日本に対する理解と学習意欲を高める(折り紙、習字、歌、日本料理など)。 ・学生がスピーチコンテスト出場するための指導と協力を行う。 ・タイ南部のタイ人日本語教師で組織されている「南部タイ日本語教師会」主催の日本語キャンプ(文化祭)に対する協力をを行う。

要 請 概 要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、(副教材として)「みんなの日本語」(スリーエーネットワーク)「エリンが挑戦!にほんごできます。」(国際交流基金)などがある。
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本語教師25名うちタイ人日本語教師1名、女性、50代、日本語会話レベル中級。 外国籍教師は中国人ボランティア2名、フランス人1名

要 請 概 要	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) タイ語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	----------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴(大卒 ) ( ) 学歴理由:(学校教師として必要なため ) ・経験( ) ( ) 経験理由:( ) ・日本語教授法 理由:(日本語教育を行うための必須条件 ) 理由:( )
------------------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 地 況 域	気候(熱帯モンスーン ) 気温( 22~38°C位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
------------------	--



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 24 日

要請番号( JL 027 - 11 - A - 01 )		調査者名: 志賀 龍				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ベトナム	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	○新規 ◎交替 2代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			1	23 / 3	年 月 から
				2	23 / 4	
	3	24 / 1				
開発課題 その他						
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Training					
	2) 配属先名 (日本語) フェ大学外国語大学 (英語) College of Foreign Languages, University of Hue					
	3) 任地 トゥアティエン・フエ省フエ市 首都( ハノイ )から 南 方向 680 Km 主要都市( フェ市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は国立フェ大学傘下の外国語大学。日本語学科は2006年開設、日本語の正規授業は月～土で行われており、学年によっては午前・午後の2シフト制となっている。この他にも、英語学科および中国語学科の第二外国語としての日本語教育、夜間大学での日本語教育も実施している。これまでもJICAボランティア派遣のほか、国際交流基金や民間企業からの図書寄贈などの支援を受けた実績がある。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同配属先には2007年の短期シニア海外ボランティア派遣よりJICAボランティアによる支援が開始され、現在は長期青年海外協力隊員(21-3)と短期シニア海外ボランティアが若手教師の育成、学生への日本語指導、教材の整備を中心に活動を行っている。今後、日本語学科全体でのレベルアップを目標とし、学科長を含む教授歴の長いベトナム人教師が、順に博士・修士号取得のため日本に留学する予定がある。それにともない、学科内に経験のある教師が不足する状況となるため、経験の浅い教師への支援と日々の授業を担当し学生に直接指導をすることへの支援が求められている。					
	2) 期待される具体的業務内容 前任者の活動を引き継ぎ配属先の一員として、同僚と協力しながら以下の活動を行う。 ・ 授業を担当し学生への直接指導を行う ・ 若手教師の教授能力向上への支援 ・ 中部日本語祭り等配属先が関わる各種イベントへの支援 ・ その他必要に応じた学科運営への支援					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 主教材は「みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ」、「中級から学ぶ日本語」、「上級で学ぶ日本語」。学科には、その他日本語に関する各種書籍、資料有り。パソコン、コピー機、プロジェクター。					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学科長(女性/40代) ベトナム人教師14名(女性/20～40代、内2名は日本留学中) 日本人教師2名(2011年2月までの予定) JICA短期シニアボランティア1名(2011年5月まで)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ベトナム語 ( )		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) ☐ (レベル: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・ 教諭免許 ( ) ・ 性別 ( ) 性別理由: ( ) ・ 学歴 (大卒 ) ( ) 学歴理由: (大学で指導をするため ) ・ 経験 (実務経験 ) (2年以上 ) 経験理由: (初級から上級までの指導・アドバイスをを行う ) 理由: (活動に必要なため ) 理由: ( )					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
◎有 ○無 ○車輦 ○単車 ◎自転車					x	
通勤に必要。大学までは緩やかな上り坂が続く。						
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地域況	気候(亜熱帯 ) 気温( 15～40℃位)		電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)	水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)		
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)					



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 27 日

要請番号( JL 027 - 11 - A - 03 )

調査者名: 志賀 龍

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベトナム	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ●交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 その他

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Training		
	2) 配属先名 (日本語) ハノイ国家大学外国語大学東洋言語文化学部日本語日本文化学科 (英語) University of Foreign Languages and International Studies		
	3) 任地 ハノイ市 首都( ハノイ )から 北 方向 0 Km 主要都市( ハノイ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ボランティアが配属される東洋言語文化学部では日本語のほかに韓国語教育も行われている。日本語日本文化学科の学部生は約404名。翻訳・通訳と日本語教師育成コースがあり、2009年からは大学院を開講、付属の高校でも日本語教育が行われている。日本の大学との共同プログラム、日系企業からの支援を受けたビジネス日本語講座等、積極的に外部からの支援を受け入れている。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先には1995年より青年海外協力が派遣され日本語教育の基盤整備への支援を行ってきた。2008年に配属先で日本語教師養成コースが開講されたことにより、学生への直接指導と教師への指導、教師養成を重層的に支援するため、2009年よりシニア海外ボランティアと青年海外協力の派遣を行っている。その間、大学院が開講されるなど学科として着実に発展をしているが、引き続きベトナム人教師の教授能力向上、専門的な科目の授業担当、コース運営の改善にかかる支援が求められている。現在活動中の隊員(21-4)は、会話クラスを充実させるため初級からのコース運営の改善に同僚教師とともに取り組んでいる。		
	2) 期待される具体的業務内容 前任者の活動を引き継ぎながら配属先の一員として、学部長、同僚教師と協力して以下のような活動を行う。 ・ 授業を担当し学生への直接指導を行う(特に日本事情クラスを充実させることが求められている)。 ・ 同僚教師の教授能力向上のための支援を行う。 ・ 必要に応じてコースデザイン改善への協力を行う。 ・ その他学科運営に必要な支援を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 おもな教材は、初級日本語、中級日本語(東京外国語大学出版)、その他各技能・クラスに応じた教材を使用。		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・ 学部長(女性/40代)・副学部長(女性/40代) ・ ベトナム人教師23名(女性19名、男性4名) ・ 日本人非常勤講師 ・ 日本留学中教師5名		
	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ベトナム語 ( ) ( ) 6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )		
条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)			
・ 教諭免許 ( ) ・ 性別 ( ) 性別理由: ( ) ・ 学歴 (大卒) ( ) 学歴理由: (大学での指導を行うため) ・ 経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: (初級から上級までの指導・アドバイスを行う理由: (活動上必要理由: (			
活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)			
概地況域	気候(亜熱帯) 気温( 10~40℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 4 日

要請番号( JL 033 - 11 - A - 01 )

調査者名: 臣川 元寛

国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期	
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852 )	(長期のみ)	○ 新規	1	23 / 3
	指導科目		◎ 交替	2	23 / 4
	職種(英) Japanese Language Instructor		○ 2代目	3	24 / 1
	指導科目(英)		○ 〇ヶ月		年 月 日から

開発課題 相互理解の増進

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 河南省科学技術庁 (受入機関名)(英語) Henan Science and Technology Department
	2) 配属先名 (日本語) 信陽師範学院 (英語) Xinyang Normal University
	3) 任地 河南省信陽市 首都( 北京 )から 南 方向 800 Km 主要都市( 鄭州 )までの交通手段及び所要時間( 鉄道 で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 信陽市は人口85万人、中国十大銘茶の一つの信陽毛尖茶の産地。1975年設立の省の重点師範大学の一つ。院生を含めた学生数は約20,000人、教職員数は約1,600人。日本語科は外国語学部に属する。イギリス、カナダ等からの英語教師の他、韓国人韓国語教師もいる。JICAボランティアは21年度2次隊で初代隊員(日本語教師)が活躍中。なお、河南省は三重県と、信陽市獅河区は岡山県新見市と友好都市提携がある。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語科は2007年度に開設し、現在、第4期で181名の本科生(4年制・主専攻)がいる。現在派遣中の隊員は、 ①学生の日本語能力向上(特に通常授業における発音、アクセント、イントネーション)、②日本文化紹介講座、校内スピーチ大会などイベント開催への協力、③同僚教師の日本語能力向上、などを課題として活動している。また、日本語科ができて日が浅いこともあり、JICAの技術情報支援制度などを利用して書籍や辞書類を取り寄せるなど、日本語教育環境整備にも貢献している。以上のような流れが評価され、2代目隊員が申請された。配属先ホームページ: <a href="http://www.xytc.edu.cn/">http://www.xytc.edu.cn/</a>
	2) 期待される具体的業務内容 学生の会話能力向上、アクセントやイントネーションの指導、日本文化や礼儀の指導。 1. 学生への授業(合計で週45分×18時間程度) 1年生、2年生に対する会話、聴解。(3年生に対する映像鑑賞。)4年生に対する上級日本語など。 2. 同僚教師が主体となって実施している日本文化講座、校内スピーチ大会などイベントへの協力。 3. 学生が主体となって実施している日本語サロン(週1回)などの日本語活動への協力。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プロジェクター、LL教室、マルチメディア教室など。
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 中国人教師は6名(男性3名、女性3名/20代~40代)。2010年11月にJICA青年研修事業にて中国人日本語教師1名が訪日(2週間)。学生は18~23歳の大学生で、ほとんどがゼロ初級からスタート。

5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 中国語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
---	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( ) ・学歴 (大卒) ( ) 学歴理由:(業務上不可欠な条件) ・経歴 ( ) ( ) 経歴理由:( ) ・日本語教授法 理由:(業務上不可欠な条件) 理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(温帯) 気温(-3~35℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
地域	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 4 日

要請番号( JL 033 - 11- A- 02 )

調査者名: 臣川 元寛

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	23 / 4	
指導科目(英)	3	24 / 1				
開発課題 相互理解の増進						
配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 湖北省科学技術庁 (受入機関名)(英語) Hubei Science and Technology Department					
	2) 配属先名 (日本語) 湖北省黄冈市外国語学校 (英語) Huanggang Foreign Language School					
	3) 任地 湖北省黄冈市 首都( 北京 )から 南 方向 1050 Km 主要都市( 武漢 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 2 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 外国語教育に重きを置く公立中高校。総学生数は約5,000名。2006年に黄冈市外国語学校を開校。現在、高校生日本語科は200名以上、中学生は約110名、留学クラスは約15名の学生がいる。JICAボランティアは21年度1次隊で初代隊員(日本語教師)が活躍中。和歌山外国語専門学校、明日香美容文化専門学校日本語科(大分市)と友好学校提携。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在派遣中の隊員は、①図書・教材の増加及び活用、②日本語クラブ(単語大会・会話大会・作文大会・クリスマス会・日本祭り等)の活性化、③同僚教師の能力向上、などを課題として活動している。赴任当初から学内に日本語活動室が設置され、日本の提携学校から着物の寄贈を受けるなど、教育環境整備にも貢献。また、2010年11月にJICA青年研修事業にて中国人日本語教師1名が2週間の訪日研修に参加。以上のような流れが評価され、2代目隊員が申請された。 配属先ホームページ: <a href="http://www.hgwx.cn/guest/g_index.aspx">http://www.hgwx.cn/guest/g_index.aspx</a>					
	2) 期待される具体的業務内容 協働を通じて、高校生の日本語レベルをアップさせ、中学生の日本語学習への興味を引き出し、当校が促進している日本留学への良好な基礎を築く。また、生徒の国際的視野を広げることも期待されている。 1. 高校生に対する会話、聴解、作文の指導(週45分×15時間程度) 特に1年生は発音、2年生は聴解、3年生は作文(試験対策)を重視。 2. 留学クラスへの初歩的なトレーニング(4か月間の集中コース/毎年9月から冬にかけて) 3. 中学生に対する異文化理解教育 4. 外国語学校日本語教育の特色を伸ばし、日中文化交流を促進する。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、LL教室(60名収容)、スライド映写機、コピー機など。(学校は3棟に分かれており、54教室、各教室60平米。理科実験室、パソコン室、会話訓練室、マルチメディア教室などを備えている。)					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 中国人教師は3名(男性1名/30代、女性2名/いずれも20代)。2010年11月にJICA青年研修事業で教師1名が訪日(2週間)。学生は中学生110名、高校生約200名。高校1年生はゼロ初級スタート。		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 中国語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( )</li> <li>学歴 (大卒 ) ( ) 学歴理由:(業務上不可欠な条件 )</li> <li>経験 ( ) ( ) 経験理由:( )</li> <li>日本語教授法 理由:(業務上不可欠な条件 )</li> </ul>					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					◎	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概況	気候(温帯 ) 気温( -4 ~ 39℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし			
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし		水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし			





平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 1 月 4 日

要請番号( JL 033 - 11 - A - 07 )		調査者名: 中坊 容子			
国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期	
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852 )	(長期のみ)	○新規	1	23 / 3
	指導科目		◎2年	2	23 / 4
	職種(英) Japanese Language Instructor		○1年	3	24 / 1
	指導科目(英)	3代目	○ヶ月		
JOCV/SV 日系/短期等 年、月から					
開発課題 相互理解の増進					
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 安徽省科学技術庁 (受入機関名)(英語) Anhui Science and Technology Department				
	2) 配属先名 (日本語) 安徽中澳科技職業学院 (英語) Anhui ZHONG-AO Institute of Technology				
	3) 任地 安徽省合肥市 首都( 北京 )から 南 方向 1109 Km 主要都市( 合肥市内中心部 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 安徽省合肥市内にある1998年に安徽省科学技術庁とオーストラリアCENTRAL TAFE学院が投資し創立された3年制の短期大学。安徽省のIELTSとJ-TESTの試験地に指定されている。学生数3000人。3つの学部、23の学科がある。日本語教育は外国語学部日本語科で行なわれており、2011年1月時点での日本語学科の学生数は239名(1年生68名 2年生96名 3年生75名)。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語科の大部分の教師は20代と若く教学経験も浅いことから、日本語科や教師のレベルアップのため引き続き隊員の要請がなされた。学校は隊員とともに同校にとってより良い教授法を模索し、日本の先進的な教育理念を取り入れることを望んでいる。日本語科の準備室には隊員の席が準備されており、隊員はそこで授業準備や他の教師との交流を行なう。前任(21年度3次隊)は配属先での授業、各種課外活動を行なうほか、同じく合肥市派遣の日本語教師JVと共に合肥日本語教師会に参加し様々な地域活動を行ったり、お互いの学校を訪問する等の活動も行っている。http://www.acac.cn/zaxy/public/index.xp				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 会話・作文・読解等の授業を行う(週12コマ程度/1コマ45分) 2. 日本語科の一員として日本語学科の運営に携わる (中国人日本語教師の授業準備・授業の補助やヒアリング教材の作成など) 3. 学生主催の日本語コーナーへの参加(週1回) 4. 課外活動の開催補助(校内スピーチコンテスト・地域のスピーチコンテスト・日本知識クイズ大会など)				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ボランティア専用のパソコン(Windows XP) プリンター マルチメディア教室 コピー機 スキャナー スクリーン				
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル □中国人教師 6名(男1名 女5名)みな日本語能力試験1級 □日本人教師 1名(男性 60代) □学生: 239名 ゼロ初級開始 18歳~22歳		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 中国語 ( )		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) □ (レベル: )
	資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( )性別理由:( ) ・学歴(大卒)( )学歴理由:(業務上不可欠な条件) ・経歴( )経歴理由:( ) ・日本語教授法理由:(業務上不可欠な条件) 理由:( )				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車					X
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概況	気候(温帯) 気温(-10~38℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし)		
地域	電話(☑インターネット可 ☑通話可、□不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)		



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 10 日

要請番号( JL 033 - 11- A- 08 )

調査者名: 鈴木大介、矢野史俊

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	23 / 4
				3	24 / 1

開発課題 相互理解の増進

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 黒龍江省科学技術庁 (受入機関名)(英語) Heilongjiang Science and Technology Department	
	2) 配属先名 (日本語) 牡丹江大学 (英語) Mudanjiang University	
	3) 任地 黒龍江省牡丹江市 首都( 北京 )から 北東 方向 1200 Km 主要都市( ハルビン )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1 時間)	
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1983年設立(省政府批准)である牡丹江市唯一の3年制の総合短期大学。機械工程系、芸術系、外国語系(日本の学部にあたる)など10系と教養部(学部ではなく各系共通の基礎教育部門)2部等からなり、教職員数約550名、学生数約8000名を有する。日本語科がある外国語系には英語科、ロシア語科、韓国語科があり、ロシア語科と韓国語科には外国人教師が在籍。他国からの援助はない。	
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 外国語系(学部)日本語科は2008年に設立された新しい学科。中国人教師は6名(うち常勤4名)在籍。常勤講師は全員日本語能力試験1級保持者であるが、訪日経験のある教師は1人のみ。学生数は1年生約70名(2クラス)、2年生約100名(3クラス)。なお3年生に対する授業は実施されず、主に就職活動に充てられる。開学間もないため、教師の教授法の向上への協力のほかに、実践する場が少ない学生への日本語応用力向上のため協力隊を要請し、学習意欲の向上や日本文化理解を深めたいと考えている。 なお、黒龍江省は北海道、山形県、新潟県と、牡丹江市は滋賀県大津市と友好姉妹都市提携がある。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 会話及び聴解の授業を担当 1週間16コマ程度を予定/1コマは45分 2. 会話を通じて教師の日本語レベルの維持・向上およびアドバイス 3. 学生との交流を通じた日本文化の紹介 4. スピーチコンテストや他のイベントを学生と一緒に企画  ※ 現在、他に契約日本人教師はいない。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本語科職員室、コンピューター、マルチメディア教室、プリンターなど。	
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師は中国人日本語教師6名(うち4名常勤)。主任も含め全員20代と若い教師陣。常勤講師は日本語能力試験1級保持。学生はほとんどがゼロ初級からの開始。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 中国語 ( ) ( )
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )	
条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( ) ・学歴 (大卒 ) ( ) 学歴理由:(業務上不可欠な条件 ) ・経験 ( ) ( ) 経験理由:( ) ・日本語教授法 理由:(業務上不可欠な条件 ) 理由:( )		
活動用交通手段の必要性		
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		
研修等 形態 現職教員特別参加制度		
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)		
概地況	気候(亜寒帯気候 ) 気温( -32~32℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 9 日

要請番号( JL 051 - 11 - A - 11 )		調査者名: 池田 敬				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
バングラ デシュ	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	23 / 4	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	24 / 1	
指導科目(英)	3	/				
開発課題 バングラデシュ その他開発課題						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education					
	2) 配属先名 (日本語) 国立ジャハングナゴール大学言語センター (英語) The Language Center, Jahangirnagar University					
	3) 任地 ダッカ県、サパール 首都( ダッカ )から 北西 方向 45 Km 主要都市( ダッカ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1981年設立の学生寮も完備する総合国立大学。大学年間予算は約36億円、言語センターは3500万円で運営。センターでは現在6ヶ国語のクラスがあり、外国人教授も受け入れている。言語センターの各語学コースには約270名の生徒が登録し、センターの運営には2名の専任職員が携わり、7名の語学講師が各言語クラスを担当している。センター内には基本的な日本語コース用各種教材を揃えている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語コースは人気が高いが、当言語センターにはこれまで日本人教師は存在せず、バングラデシュと日本の教育機関で日本語教育法を習得したバングラデシュ人教師によってカリキュラム作成と授業が行われてきた。最新の日本文化や社会状況に即した実践的な日本語を教えることのできる人材が強く希望されてきた。当ボランティアには、年間150時間の日本語コース担当(初級)に加えて、アドバンスコース(日本語検定コース)の新規開設及び運営、日本社会、文化、教育制度についての助言が期待されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・ 初級日本語コース (Junior Certificate Course)の担当業務、同僚への日本語教授、コースカリキュラム・教材の改訂 ・ 年に2回実施されている日本語検定(1~5級)受験対策のためのアドバンスコース新規開設及び運営管理 ・ 現代日本社会・文化についての知識普及のためのセミナーや講義などの企画と実施 ・ 言語センター運営における支援					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本語教科書「みんなの日本語」、DVD教材、TV、その他					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 言語センター長(上司): 男1名 50歳代 日本語兼任教授(同僚): 男1名 40歳代		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ベンガル語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (I <sup>A</sup> N: C) <input type="checkbox"/> (I <sup>A</sup> N: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・ 教諭免許 ( ) ・ 性別 ( ) 性別理由:( ) ・ 学歴 ( ) ( ) 学歴理由:( ) ・ 経歴 (実務経歴) (2年以上) 経歴理由:(大学クラスの運営に携わるため ) ・ 日本語教育能力検定試験合格 理由:(大学クラスの運営に携わるため ) ・ 日本語教授法 理由:(大学クラスの運営に携わるため )					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車					◎	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地 況域	気候(亜熱帯モンスーン) 気温( 10-40℃位)		電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 14 日

要請番号( JL 054 - 11 - A - 01 )

調査者名:羽根岡 桂子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インド	職種 日本語教師 (コード 6852 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	23 / 4	
指導科目(英)	3	24 / 1				

開発課題 インド その他開発課題

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development
	2)配属先名 (日本語) ムニ・インターナショナル・スクール (英語) Muni International School
	3)任地 デリー 首都( デリー )から 北 方向 0 Km 主要都市( デリー )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は2002年4月開校の初中等教育校で、デリー中心部より30Kmほど西部に位置する。当校生徒たちは経済的には中級以下クラスの家の子供たちで、生徒数約600名、教員数33名。約8Kmほど離れたところに最近合併した分校がある(生徒数約200名)。同校では、外国語の学習機会を与えることにより、子供の将来性を広げることを目指しており、日本語のほかに中・西・仏・独・7ヶ国の6外国語を教えている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校では1年生から4年生までの児童は日本語が必修科目である。校長が日本語が他の学校ではあまり教えられていない、難しく希少性のある言語で、将来の良い就職機会に繋がる可能性が高いことを視野に入れているためである。5年生以上は選択科目となり、日本語を含む6言語から選んで9年生まで学習している。現在、2010年7月から正式採用の日本語教師1名がすべてのクラスを教えており、1コマ40分、週42コマ(7コマ/1日)を持っている都合上、複式学級になっている学年もある。これは今後徐々に整えられていく予定であるが、未だ力不足の部分も多い。したがって、今後の充実した日本語教育実施をめざし、今回の隊員要請となった。
	2)期待される具体的業務内容 ①同僚講師と共に日本語の授業を実施し、授業内容の改善に協力する(1年生から9年生まで) ②生徒に日本事情、日本文化を紹介し、日本に対する理解と日本語学習意欲の増進を図る ③学内での日本に関するイベント等の企画、運営実施を支援する ④同僚講師の日本語及び日本語教授能力の向上を支援する
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教科書は国際交流基金がインド政府を支援して作成された教科書「うめ」「もも」「さくら」を5-9年生に対して適宜使用。1-4年生までは、挨拶・文字・文章作りなど段階的に実施する。

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教師: 男性1名、30歳代、日本語教師経験約5年、日本語能力検定3級程度 指導対象者: 小中学生1-9年生(6-15歳)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 ( ) (ヒンディー語)	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( ) ・学歴 (大卒) ( ) 学歴理由:(配属先の要望による) ・経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由:(活動上不可欠) ・日本語教授法 理由:(活動上不可欠) 理由:( )		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)	
概地 況域	気候(サバナ気候) 気温( 0~45℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 14 日

要請番号( JL 054 - 11 - A - 02 )

調査者名:羽根岡 桂子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インド	職種 日本語教師 (コード 6852 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	24 / 1
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 インド その他開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development
	2) 配属先名 (日本語) ジャグラン・パブリック・スクール (英語) Jagran Public School
	3) 任地 ウタルプラデッシュ州ラクノウ 首都( デリー )から 南東 方向 497 Km 主要都市( ラクノウ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はジャグラン・グループ(新聞社)の創始者により1987年に設立された私立初中等教育校で、同社の新聞はインド全国で一番購読者数の多いヒンディー語新聞である。総生徒数は900名、教員数45名。現校長の日本の歴史・文化に関する興味関心が高く、「日本から学びたい」との強い思いを持っている。日本語学習は2009年4月から開始された。同校での外国語教育は日本語のみ。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先現校長が日本の文化や規律・精神などに対する関心が高く、日本語教育推進に力を入れている。現在1年生から8年生(6-14歳程度)まで約700名の生徒が必修科目として学習しており、1コマ40分間で週1-2コマ/クラスである。9-10年生は選択クラス程度であるが、将来的には正式に導入したい意向あり。インド人日本語教師は1名のみで、若く日本語教師経験が浅いため、教師の能力向上及び授業の質向上などをめざして今回の要請となった。
	2) 期待される具体的業務内容 ① 同僚講師と共に日本語の授業を実施し、授業の改善に協力する(1年生から8年生まで週各1-2コマの授業) ② 生徒に日本事情、日本文化を紹介し、日本に対する理解と日本語学習意欲の増進を図る ③ 学内での日本に関するイベント等の企画、運営実施を支援する ④ 同僚講師の日本語及び日本語教授能力の向上を支援する

要 請 概 要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教科書は国際交流基金がインド政府を支援して作成された教科書「うめ」(1-5年生用)、「もも」(1-5年生用)を利用。6-8年生には「がんばって」(saraswati house pvt. 版)を利用。
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教師: 男性1名、20歳代、日本語教師経験なし、日本語能力検定3級程度 指導対象者: 小中学生1-8年生(6-14歳)

要 請 概 要	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 (ヒンディー語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	--	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・ 教諭免許 ( ) ・ 性別 ( ) 性別理由: ( ) ・ 学歴 (大卒) ( ) 学歴理由: (配属先の要望による) ・ 経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: (活動上不可欠) ・ 日本語教授法 理由: (活動上不可欠) 理由: ( )
------------------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバナ気候) 気温( 5~45℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
地域	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

要請番号( JL 054 - 11 - A - 03 )

調査者名:羽根岡 桂子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インド	職種 日本語教師 (コード 6852 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	23 / 4	
指導科目(英)	3	24 / 1				
開発課題 その他						

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development
	2) 配属先名 (日本語) アミティインターナショナルスクール バスンドラ校 (英語) Amity International School Vasundhra
	3) 任地 ウッタールプラデッシュ州ガジヤバード 首都( )から 東 方向 22 Km 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はインド国内に35校を展開し、約40000人の生徒が学ぶ私立名門校グループの中の1校。2003年4月にデリー郊外に設立され、幼稚園から高校までの一環教育を行っている。総生徒数約2000名。日本語教育は2006年から導入し、現在6年生から10年生まで137名の生徒が学習している。同校では語学教育はサンスクリット語と日本語からの選択になっており、日本語教育推進には熱心に取り組んでいる。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先現校長は来日経験があり、日本文化への関心が高く、日本語教育推進に力を入れている。現在6年生から10年生(12-16歳程度)まで137名の生徒が学習中。日本語授業は1コマ35分間で6・7・8年生が週4コマ、9・10年生が週6コマである。2010年4月から10年生にも日本語授業を開始し、11・12年生の日本語授業実施もインド中等教育審議会から許可がおりている。しかし、インド人日本語教師は1名のみ。2010年9月から2011年3月まで国際交流基金での教師研修に参加中など熱意があるが、教師経験は浅く日本語能力も限られているため、教師の能力向上及び授業の質向上などを旨として今回の要請となった。
	2) 期待される具体的業務内容 ① 同僚講師と共に日本語の授業を実施し、授業の改善に協力する(6年生から10年生まで週24コマ+11・12年生の授業) ② 生徒に日本事情、日本文化を紹介し、日本に対する理解と日本語学習意欲の増進を図る ③ 学内での日本に関するイベント等の企画、運営実施を支援する ④ 同僚講師の日本語及び日本語教授能力の向上を支援する(会話・日本人特有のしぐさなども)
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教科書は国際交流基がインド政府を支援して作成された教科書「うめ」(6年生用)、「もも」(7・8年生用)を利用。9・10年生には「みんなの日本語1・2」を利用。Japanese Roomが別にある。
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 女性1名、臨時講師、20代、日本語教師経験4年、日本語能力検定3級
	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 (ヒンディー語) ( ) 6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・ 教諭免許 ( ) ・ 性別 ( ) 性別理由:( ) ・ 学歴 (大卒) ( ) 学歴理由:(CPが大卒のため) ・ 経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由:(コース運営に不可欠) 理由:(コース運営に不可欠) 理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(サバナ気候) 気温( 5~45℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 15 日

要請番号( JL 054-11-A-07 )		調査者名:羽根岡 桂子				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インド	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ◎交替 2代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	23 / 4	
指導科目(英)	3	24 / 1				
開発課題 その他						
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development					
	2) 配属先名 (日本語) アメリカンカレッジ 日本語・文化学部 (英語) The American college, Department of Japanese Language and Culture					
	3) 任地 タミルナドゥ州マドゥライ 首都( デリー )から 南 方向 1800 Km 主要都市( チェンナイ )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は1842年に米ミッション団によって創設され、1881年に現在の形でスタートした、20の学部と13の修士博士課程、7のリサーチプログラムを持つ学生数約3000名の南インドマドゥライの名門私立大学である。学長は特にアジア諸国との連携を重視する姿勢を打ち出しており、日本語学部はインド初の日本語単独学部として2006年5月に発足し、南インド日本語教育の拠点校として今後の発展が期待されている。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語学科は、地元出身の経験豊富な日本語教師1名によって運営されており、2006年5月発足当初は社会人対象のオープンコースのみであったが、2007年から選択第2外国語として2年間で12単位となる正規コースが開始された。2007年は短期JOCVが派遣されており、この2つのコース運営が可能であったが、隊員が帰国した後は正規コースのみが開講されている。同校は地元では本格的な日本語学べる希少な機関であり、IT関連の日本企業への就職などで日本語学習を希望する学生数が増加傾向にあり、隊員派遣によるオープンコースの再開、正規コースの内容強化などが期待されて今回の要請となった。					
	2) 期待される具体的業務内容 ①日本語・文化学部の授業実施(正規コース:週8コマ程度、オープンコース:週4コマ程度) ②カリキュラムの見直し・作成や教材作成支援 ③学生・教師の会話力向上支援 ④日本文化・日本事情の紹介					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 主教材は「みんなの日本語」、副教材として「楽しく聞こう」「楽しく読もう」が使用されている。					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル CP: 女性1名 40歳代、日本語教師経験20年 指導対象: 学生、社会人 130名程度、初中級レベル		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (V/N: B) <input type="checkbox"/> (V/N: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別(女性)性別理由:(地域的特性のため(同僚が女性)) ・学歴(大卒)学歴理由:(大学で教師としての活動には不可欠) ・経験(実務経験)2年以上経験理由:(活動上必要不可欠) ・日本語教授法理由:(活動上必要不可欠)					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車					◎	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地域	気候(モンスーン気候) 気温( 15~40℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
況域	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 13 日

要請番号( JL 057 - 11 - A - 05 )

調査者名: 築山佳代子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モルディブ	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目 日本語教育	○新規 ●交替 13 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英) Japanese Language Instructor			2	/
				3	/

開発課題 基礎社会サービスの改善

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) モルディブ高等教育短期大学観光学部 (英語) Faculty of Hospitality and Tourism Studies, Maldives College
	3) 任地 北マレ環礁マレ島 首都( マレ市内 )から 北東 方向 0 Km 主要都市( マレ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同学部は1987年にUNDPとWHOの支援プロジェクトにより観光産業における人材育成のためのホテル・スクールとして設立された。現在、はモルディブ高等教育短期大学の一学部として組織、運営されている。年間約200名の学生が在籍している。年間予算は約3900万円(2009年)。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) モルディブへの日本人観光客は年間約4万人。観光業は当国産業のメイン産業の一つであり、日本人観光客へのサービス充実の点で日本語教育は不可欠なものとなっている。同短期大学への日本語教師派遣が約20年間継続しているのは、歴代の協力隊員の養成した現地人日本語教師が収入の高い観光業への転職が後を絶たず、長期間派遣せざるを得ない結果となっている。観光日本語の教授のみならず、質の高い大学での日本語教員育成を目標とし、現在日本語教師隊員が活動中。
	2) 期待される具体的業務内容 ・現地人教師に対し日本語教授法の指導を行う。 ・現地人による学部日本語コースの授業指導の評価を行い、対策勉強会を実施する。 ・現地日本語教授法ツバスの見直しを行う。 ・夜間に実施されている社会人のための日本語コース(1コマ2時間、週2回実施)の運営支援を行う。 ・モルディブにおける日本語教育振興のためのイベント等の支援を行う。(日本語能力試験、セミナー等) ・現地の中学及び高校からの日本語講座開講の要望に対し、同僚の現地人日本語教師を派遣し、その指導法の支援、評価等を行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、パソコン、CDラジカセ、ビデオ、プロジェクタ等

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教師3名: 35歳男性日検3級。国際交流基金日本語教師研修プログラム参加経験あり、22歳女性日検3級・同研修参加経験あり、22歳女性日検3級。学部学生17~25歳、社会人クラス9~50歳。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 ( ) (ディベヒ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------	--	--	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由: ( ) ・学歴 (大卒) ( ) 学歴理由: (高等教育機関での指導者となるため。) ・経験 (実務経験) (3年以上) 経験理由: (高等教育教師を指導するため。) ・日本語教授法 理由: (高等教育の日本語教師育成をするため) 理由: ( )
------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況	気候(熱帯モンスーン) 気温( 25~35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
------	--





平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 27 日

要請番号( JL 109 - 11 - A - 03 )	調査者名: 木下 史夫
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
キリバス	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ◎交替 2 代目	○2年 ◎1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	/
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	/
	指導科目(英)				年 月 日

開発課題 その他の支援分野

1) 受入省庁名(日本語) 労働・人材育成省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Labour and Human Resources Development

2) 配属先名 (日本語) 漁船員養成校(FTC)  
 (英語) Fisheries Training Centre (FTC)

3) 任地 ビケニベウ  
 首都( タラワ 中心地 バイリキ )から 東 方向 15 Km  
 主要都市( バイリキ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.9 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 1989年の設立以来、日本鯉・鮪漁業協働組合の支援を長く受けてきたが、現在は完全にキリバス政府に移管され運営されている。卒業生は、キリバスの漁船員人材派遣会社を通して、日本の漁船で活躍している。年間平均生徒数は30-50名、年間予算は約5千万円。現在は鯉漁船員としての技術指導に絞っているが、将来はより幅広く漁船員として活躍できる人材を育成するため長期の漁船員養成コースを開設予定。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 日本の漁船で働く卒業生が多いため、日本語の指導に力を入れている。キリバス政府が学校運営を行うようになってからは、NGOによる日本語教師支援などもあったが、現在はキリバス人講師2名が日本語を教えている。日本の漁船での就労経験を持つキリバス人講師の日本語能力は高いが、日本語を教えていくには不十分である。漁船員養成コースは9ヶ月間で、日本語の授業は週14時間。創立以来、日本語指導が行われ、教材は揃っている。一般的な日本語会話とともに、漁船員として必要な日本語を指導していくことが望まれている。

2) 期待される具体的業務内容

1. 同僚教師とともに週14時間程度の日本語の授業を、ゼロ初級対象に行う。
2. キリバス人教師の、日本語指導技術向上のための、指導・助言を行う。
3. 同僚教師と共に、現在使用している教材内容を検討し、改善を行う。
4. 日本文化の紹介なども期待されている。

なお、住居は他のボランティアとの同居になる可能性がある。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 日本語教材、ビデオテープ、CD、DVDなど 現在のメインテキストは、AOTS「SHINNIHONGONO KISO ローマ字版・漢字かなまじり版 1996年度」

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長先生(40代 男性) 日本語教師(40代 男性 教師経験7年) 日本語教師アシスタント(30代 男性 教師経験2年) 生徒約30名(2009年)(年齢18-30歳 平均22歳 男性のみ)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
--	--	--

資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)

- ・ 教諭免許 ( ) ・ 性別 ( ) 性別理由: ( )
- ・ 学歴 (大卒) ( ) 学歴理由: (講師に指導するため)
- ・ 経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: (生徒に指導するため)
- ・ 日本語教授法 理由: (日本語を指導するため)
- 理由: ( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(熱帯海洋性) 気温( 25-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)  
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 7 日

要請番号( JL 112-11-A-02 )

調査者名:村上 隆幸

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マーシャル	職種 日本語教師 指導科目 (コード 6852 )	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	2			/	
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			3	/

開発課題 基礎教育

配属先概要	1)受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2)配属先名 (日本語) マジュロ コープスクール (英語) Majuro Cooperative School
	3)任地 マジュロ環礁デラップ地区 首都( マジュロ )から 北 方向 0 Km 主要都市( マジュロ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は幼稚園・1~8年生(4~14歳)と高等部(9~12年生)を併設する私立学校で、英語での授業が徹底されるなど、学力レベルは同国トップクラスである。米国のWASC(Western Association of School and Colleges)に認定され、同校での履修科目・取得単位は米国への転校や留学時に認められる。全学年約280名が在籍し、スタッフ数33名、年間予算は約60万ドルである。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 第二外国語の教育はWASC認定条件の一つであり、同国で英語(第一外国語)以外に触れることのできる外国語は日本語か中国語である。歴史的な背景から、日本語や日本文化は現地の人々にとって受け入れやすく、WASC認定の高校や短期大学では主に日本語が履修科目となっている。同校でも2008年の高等部開設時に日本語を第二外国語とし、現在は初代隊員が指導にあたっており、今後の継続的な日本語教育を目的に後任隊員が要請された。2005年以降毎年、日本大使館主催で日本語履修校合同の日本語スピーチコンテストが開催されており、同校での日本語教育の促進は、同国全体の日本語教育の発展に大きく寄与すると期待されている。
	2)期待される具体的業務内容 ・9年生と10年生への必須科目、及び11年生と12年生への選択科目として日本語や日本文化の授業を1日3~4時限担当する(1時限50分間)。 ・初等部高学年(7年生、8年生)を対象とした日本語導入のための授業を週1時限実施する。 ・年に1度マジュロ市で開催される日本語スピーチコンテストの実施を補助するとともに、同校生徒の参加を支援する。 ・配属先の実施するイベントや課外活動への参加も期待されている。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教科書(げんきI・II)、コピー機、パソコン(Windows 98、XP)など

資格条件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長:女性 50歳代 教員18名、補助教員10名、養護教員4名、事務員2名 (教員の多くは25~30歳程度で教育学士もしくは修士を保有している)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( )	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------	---	--------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( )
・学歴 (大卒 ) ( ) 学歴理由:(業務上必要なため )
・経験 (実務経験 ) (2年以上 ) 経験理由:(業務上必要なため )
・日本語教授法 理由:(相応の技術が求められる )
理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(海洋性熱帯気候 ) 気温( 28℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 6 日

要請番号( JL 130 - 11 - A - 01 )

調査者名: 上田 博之

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
トンガ	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ◎交替 9 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	/
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	/
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 基礎教育の改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育・女性・文化省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Women's Affairs and Culture
	2) 配属先名 (日本語) エウア高校 (英語) Eua High School
	3) 任地 エウア島オホヌア村 首都(ヌクアロファ)から 南 方向 30 Km 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 公立の中学・高校教育一貫校で、フォーム1~6までの6年制の教育を行っている。生徒数は、約490名。職員数は28名。年間予算は、21千ドル(18.9百万円)である。1993年に日本の一般無償資金協力事業により校舎が新設された。過去に、家政、技術科教師、PCインストラクターの協力隊員の派遣実績があるが、現在は日本語教師のみ派遣されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 1995年エウア高校に初代の日本語教師隊員が派遣され、現在に至っている。日本語は選択科目のひとつとして3年生~6年生の授業に設定されている。エウア高校には2010年から現地人日本語教師が配属されているが、日本語のレベルがそれほど高くないことから、5年生および6年生の授業を担当できないことと現地人日本語教師のレベルアップのために隊員要請に至った。	
	2) 期待される具体的業務内容 ①フォーム3~6までの日本語教科において、10コマ~12コマ/週(1コマ60分)程度の授業を担当する。 ②現地人日本語教師に対し、日本語のレベルアップを図るトレーニングを実施する。 ③トンガ中等教育修了認定試験(TSC)及び南太平洋中等教育修了認定試験(PSSC)のための学習指導を行う。 ④教師スタッフの一員として、授業の他各種学校行事への参加を通して文化交流を促進する。 ⑤日本語部会の一員として、教科書、シラバスの改訂、かな検定、日本祭り等の実施に携わる。 生徒の年齢は13歳~18歳、1クラスの人数は5人~20人。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本語教育教材、教科書(日本語部会作成「さくら」を使用)、CDラジカセ、コピー機、コンピュータ(Windows XP)、プリンター	
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル トンガ人日本語教師、女性、経験1年、20歳台	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( )
	・学歴 (大卒) ( ) ( ) 学歴理由:(業務上不可欠)
	・経歴 ( ) ( ) ( ) 経歴理由:( )
・日本語教授法 理由:(業務上不可欠) 理由:( )	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯) 気温(17-30℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
	水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 6 日

要請番号( JL 130 - 11- A- 02 )

調査者名: 上田 博之

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
トンガ	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ●交替 17 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	24 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	/	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 基礎教育の改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育・女性・文化省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Women's Affairs and Culture
	2) 配属先名 (日本語) ババウ高校 (英語) Vava'u High School
	3) 任地 ババウ島ネリアフ市 首都(ヌクアロファ)から 北 方向 200 Km 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 1.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 公立の中学・高校教育一貫校で、フォーム1~6までの6年制の教育を行っている。生徒数は、約800名。職員数は42名。年間予算は、40千ドル(3.6百万円)である。1985年に日本の一般無償資金協力事業により学校が建設された。過去に、家政、技術科教師、理数科教師の協力隊員の派遣実績があるが、現在は日本語教師のみ派遣されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 1986年ババウ高校に初代の日本語教師隊員が派遣され、現在に至っている。日本語は選択科目のひとつとして3年生~6年生の授業に設定されている。ババウ高校には2005年から現地人日本語教師が配属されているが、日本語のレベルがそれほど高くないことから、5年生および6年生の授業を担当できないことと現地人日本語教師のレベルアップのために隊員要請にいたった。
	2) 期待される具体的業務内容 ①フォーム5.6の日本語クラスで、10コマ~12コマ/週(1コマ60分)程度の授業を担当する。 ②現地人日本語教師に対し、日本語のレベルアップを図るトレーニングを実施する。 ③トンガ中等教育修了認定試験(TSC)及び南太平洋中等教育修了認定試験(PSSC)のための学習指導を行う ④教師スタッフの一員として、授業の他各種学校行事への参加を通して文化交流を促進する。 ⑤日本語部会の一員として、教科書、シラバスの改訂、かな検定、日本祭り等の実施に携わる 生徒の年齢は13歳~18歳、1クラスの人数は5人~20人。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本語教育教材、教科書(日本語部会作成「さくら」を使用)、CDラジカセ、コピー機、コンピュータ(Windows XP)、プリンター

要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル トンガ人日本語教師、女性、経験6年、20歳台	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
		( )	( )

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許( )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴(大卒)( ) 学歴理由:(業務上不可欠)( ) ・経験( ) 経験理由:( ) ・日本語教授法 理由:(業務上不可欠)理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(17-30℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
-----	--



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 6 日

要請番号( JL 130-11-A-03 )

調査者名: 上田 博之

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
トンガ	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3	年 月 から
	指導科目 日本語教師			2	23 / 4	
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	24 / 1	
	指導科目(英) Japanese Language Instructor					

開発課題 基礎教育の質的向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育・女性・文化省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Women's Affairs and Culture
	2) 配属先名 (日本語) 教員養成学校 (英語) Training Institute of Education (TIOE)
	3) 任地 ヌクアロファ 首都( ヌクアロファ )から 北 方向 0 Km 主要都市( ヌクアロファ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1947年創立、トンガ唯一の教員養成機関、3年制で初等教育課程と中等教育課程がある。教員数約25名、学生数約300名、2学期制(2月~7月、8月~12月)を採用している。現在は教育課程開発部に配属されている珠算隊員がそろばんの授業を担当しているが、他のボランティアの配置はない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 教員養成学校の日本語の授業は2002年から開始され、開始当初は教育課程開発部に派遣された隊員が担当していた。教員養成学校は日本語を専攻する学生数が少なかったことから、他の配属先に派遣されているボランティアが授業を担当することもあったが、学生数が増加すると兼任では担当が難しいことから隊員の要請にいたった。	
	2) 期待される具体的業務内容 ①日本語及び日本語教授法の授業 ②日本語カリキュラム作成 ③トンガ中等教育修了認定試験(TSC)及び南太平洋中等教育修了認定試験(PSSC)のモデレーター(試験問題のチェック) ④TIOEの職員として各種学校行事への参加 ⑤他校のサポート 学生数は各学年1名から3名	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 トンガ国定教科書(「さくら」I~IV)、「みんなの日本語」I、辞書等	
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先のスタッフの多くは大卒、年齢は30歳~50歳。学生の日本語能力は高くない。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( )	
	・学歴 (大卒 ) ( ) 学歴理由:(教員養成学校で教えるための必要条件 )	
	・経歴 (実務経歴 ) (2年以上 ) 経歴理由:(教授法の授業を担当する必要があるため )	
	・実務経歴は中等教育レベルでの教授経歴 理由:( )	
・日本語教授法 理由:(業務上不可欠 )		

活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車				◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯 ) 気温( 17-30℃位 )	電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 10 月 29 日

要請番号( JL 324 - 11- A- 02 )

調査者名: 山岡 靖代

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ●交替 13 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			3	/

開発課題 パラグアイ その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) アスンシオン市役所 (受入機関名)(英語) Asuncion City Hall
	2) 配属先名 (日本語) パラグアイ・日本 人造りセンター (英語) Paraguay-Japon Center
	3) 任地 アスンシオン市 首都( アスンシオン )から 東 方向 5 Km 主要都市( アスンシオン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) パ日人造りセンターは1988年に日本の無償資金協力によって建設された多目的センターで、各種語学講座(英・仏・独・伊・葡・日)をはじめ、情報処理、各種楽器、武道、スポーツ等の講座を有料で開催している。また同センターには、スポーツジム、体育館、図書館、劇場等の施設も設置されており、市民に広く利用されている。市からの予算は人件費や光熱費等のみで、運営費は各種講座の受講料等で賄われている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) パ日人造りセンターにおいて、一般市民向けに各種の語学講座を開講しているが、1990年に隊員の派遣によって開設された日本語講座は日本とパラグアイの文化交流を行う上での重要な役割を担っている。同センターには12代にわたって隊員が派遣されているが、現地の日本語教師だけでは受講生のニーズに対応した講座を実施することが未だ困難な状況であり、同センターの日本語教育をより充実させるために、引き続き隊員の支援が求められている。受講生の年齢は10-60歳代と幅広く、社会人も多く在籍しているため、講座は夜間と土曜日に限定されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 日本語を指導している現地教師に対して、教授法に関する助言および中級レベル以上の受講生に対応できるような能力支援を行う。 2. クラス運営に係る支援を行う。 3. 1年に1度行われる、日本語能力試験対策のための短期集中コースの支援を行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ホワイトボード、CDデッキ、TV (VHS)、ビデオ、各種テキスト、問題集等	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本語講座スタッフ3名(日本人教師1名、現地人教師2名20歳代) 日本語講座生徒(15クラス、120名)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( ) その他 (グアラニー語 )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( ) ・学歴 (大卒 ) ( ) 学歴理由:( ) ・経験 (実務経験 ) (2年以上 ) 経験理由:(教師に対する指導も含まれているため ) 理由:(教師に対する指導も含まれているため ) 理由:( )	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯 ) 気温( 0~40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし ) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
----------	---



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 21 日

要請番号( JL 424 - 11 - A - 03 )		調査者名: 伊藤 牧				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ヨルダン	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ◎交替 13 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	24 / 1	
指導科目(英)	3	/				
開発課題 質の高い教育の提供と地域間格差の是正						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Education					
	2) 配属先名 (日本語) ヨルダン大学外国語学部アジア言語学科 (英語) The University of Jordan Faculty of Foreign Languages Asian Division					
	3) 任地 アンマン 首都( アンマン )から 北 方向 0 Km 主要都市( アンマン )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1962年設立の国立大学。14学部と大学院を有し、学生数は約3.5万人。外国語学部には独仏西伊の主要言語の他、韓国語・ヘブライ・トルコ・ギリシャ・ロシア・中国語のコースがある。日本語コースは1993年に開設。これまでは、ヨルダン大学で選択科目となっている日本語初級の前半部分の指導と年に1回程度大学内で日本文化紹介イベントを行っている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ヨルダン国内にて唯一の正規大学講座が開設され、日本語や日本文化に興味を持つ学生への貴重な機会を提供している。日本語(韓国語・ヘブライ・トルコ・ギリシャ・ロシア・中国語も同様)は外国語学部生の選択必修科目になっている。 他学部の学生も自由選択科目として履修することが可能。 日本語の授業は現在2名のJICAボランティアによって行われている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・1コースについて50分授業週9コマの授業があり、レベル1及び2、3を担当し、年に2回の試験を実施する。 ・10月初旬から2月初めと、2月中旬から6月初めまでの2期に上記授業を行うほか、夏期講座として7月、8月にも授業を提供する。 ・年に1回、2日間の日本紹介イベント及びスピーチコンテストを実施する。 ・ヨルダン大学での授業に加え、JAAJ(JICA帰国研修生同窓会)における日本語授業を担当する。(週2-3コマ) ・コンピュータ技術隊員が開発したEラーニングシステムのコンテンツ維持改良を行なう。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 語学センター内LL教室にビデオデッキ、カセット等AV機器整備。VデッキはPAL方式が大半、センター内にマルチ方式Vデッキが使えるAV室有。レベル3までの教材はビデオ、指導書、参考書等十分に揃っている。					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル アジア言語学科長 男性・博士号取得者		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 ( ) 英語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴(大卒 ) ( ) 学歴理由:(大学内勤務のため ) ・経歴(実務経歴 ) (2年以上 ) 経歴理由:(大学生対象の指導のため ) ・日本語教授法 理由:( ) 理由:( )					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車					x	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地況	気候(地中海性 ) 気温( 0-35℃位 )	電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
況域	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 21 日

要請番号( JL 424 - 11 - A - 04 )

調査者名:伊藤 牧

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ヨルダン	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	○新規 ●交替 13 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			1 23 / 3	年 月 日から

開発課題 質の高い教育の提供と地域間格差の是正

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Education
	2) 配属先名 (日本語) ヨルダン大学外国語学部アジア言語学科 (英語) The University of Jordan Faculty of Foreign Languages Asian Division
	3) 任地 アンマン 首都( アンマン )から 北 方向 0 Km 主要都市( アンマン )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1962年設立の国立大学。14学部と大学院を有し、学生数は約3.5万人。外国語学部には独仏西伊の主要言語の他、韓国語・ヘブライ・トルコ・ギリシャ・ロシア・中国語のコースがある。日本語コースは1993年に開設。これまでは、ヨルダン大学で選択科目となっている日本語初級の前半部分の指導と年に1回程度大学内で日本文化紹介イベントを行っている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ヨルダン国内にて唯一の正規大学講座が開設され、日本語や日本文化に興味を持つ学生への貴重な機会を提供している。日本語(韓国語・ヘブライ・トルコ・ギリシャ・ロシア・中国語も同様)は外国語学部生の選択必修科目になっている。 他学部の学生も自由選択科目として履修することが可能。 日本語の授業は現在2名のJICAボランティアによって行われている。
	2) 期待される具体的業務内容 ・1コースについて50分授業週9コマの授業があり、レベル1及び2、3を担当し、年に2回の試験を実施する。 ・10月初旬から2月初めと、2月中旬から6月初めまでの2期に上記授業を行うほか、夏期講座として7月、8月にも授業を提供する。 ・年に1回、2日間の日本紹介イベント及びスピーチコンテストを実施する。 ・ヨルダン大学での授業に加え、JAAJ(JICA帰国研修生同窓会)における日本語授業を担当する。(週2-3コマ) ・コンピュータ技術隊員が開発したEラーニングシステムのコンテンツ維持改良を行なう。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 語学センター内LL教室にビデオデッキ、カセット等AV機器整備。VデッキはPAL方式が大半、センター内にマルチ方式Vデッキが使えるAV室有。レベル3までの教材はビデオ、指導書、参考書等十分に揃っている。

要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル アジア言語学科長 男性・博士号取得者	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 ( ) 英語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
---	--	---	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( ) ・学歴 (大卒) ( ) 学歴理由:(大学内勤務のため) ( ) ・経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由:(大学生対象の指導のため) ( ) ・日本語教授法 理由:( ) 理由:( )
------------------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(地中海性) 気温( 0-35℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---





## 平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 28 日

要請番号( JL 442 - 11 - A - 02 )

調査者名: 大村 晴子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
シリア	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ◎交替 7 代目	◎2年	1	24 / 1
	指導科目		○1年	2	/
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)		○ヶ月	3	/
年 月 日から					
開発課題 基礎教育の拡充					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Education				
	2) 配属先名 (日本語) アレッポ大学学術交流日本センター (英語) Japan Center For Academic Cooperation - University of Aleppo				
	3) 任地 アレッポ 首都( ダマスカス )から 北 方向 360 Km 主要都市( アレッポ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.3 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) シリア第2の都市にあるアレッポ大学内に位置する同センターは、1995年に設立され、大学生・一般社会人を対象とした日本語公開講座を開講している。同センターは、2005年に慶応大学と学術交流協定を結び、学生の派遣・受入などを行っている。また同大学には、2010年に日本研究に関する修士課程が新たに設置された。JICAボランティアは、1997年から2名の短期隊員を含め、13名が派遣されている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同センターには現在約120名の学習者が在籍し、JICAボランティア2名と現地講師1~2名の3~4名体制で12レベル(初級~中級)の日本語コースを運営している。現地講師は初級1クラスのみを担当し、ボランティアは残りのクラスを分担している(1人当たり2時間×10~12コマ/週を担当)。コース運営や行事企画のほか、今後は現地講師育成・現地講師主体の日本語教育への移行が課題となっている。このため、経験のある日本語教師の派遣が求められている。				
	2) 期待される具体的業務内容 同僚のJICAボランティア・現地講師と協力して、以下の活動を行う。 1. 日本語コース(受講者1人当たりの受講時間 2時間/1コマ×2コマ/週の3か月コースを年に2期開講、午後4時~8時開講)及び夏季集中コース(1か月開講)の運営 2. 他の日本語教育機関(ダマスカス大学日本語学科、ダマスカス大学高等言語学院日本語科)と共催する日本語スピーチコンテストの共同企画・運営 3. 秋に開催する日本フェアの企画・運営 4. 現地講師育成				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 『みんなの日本語』(教材、CD)、副教材や日本語教育関連の書籍、辞書、日本語の雑誌、白黒コピー機、白黒プリンター、日本語入力可能なパソコン、プロジェクター				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター長: アレッポ大学学長、副センター長: アレッポ大学工学部教授 40歳代男性(初級クラス担当)、非常勤講師: 20歳代女性(初級クラス担当) 学習者: 18歳~30歳くらいの男女約120名		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 ( ) アラビア語 (シリア方言)		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( )性別理由:( ) ・学歴(大卒 ) (業務関連分野) 学歴理由:(大学機関で教授するため) ・経歴(実務経歴 ) (2年以上) 経歴理由:(現地講師育成のため) ・日本語教授法 理由:(現地講師指導のため) 理由:( )				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車					×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(ステップ気候 ) 気温( 5-40℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期( ●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期( ○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 8 日

要請番号( JL 442 - 11 - A - 12 )

調査者名: 大村 晴子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
シリア	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ●交替 6 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目 日本語教育			2	23 / 4
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英) Japanese Language Education			3	24 / 1

開発課題 基礎教育の拡充

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Education
	2) 配属先名 (日本語) ダマスカス大学高等言語学院日本語科 (英語) Japanese Language Section, Higher Language Institute of Damascus Univ.
	3) 任地 ダマスカス 首都( ダマスカス )から 西 方向 5 Km 主要都市( ダマスカス )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国最大規模の総合大学であるダマスカス大学に付属する同学院は、大学生・一般社会人を対象とした外国語教育機関で、1988年設立。現在、日本語を含む14の言語の教育を行っている。同学院日本語科は、ダマスカスで一般人が日本語を学べる唯一の場である。現在、東京外国語大学、大阪大学等とも提携があり、日本へ留学する学生もいる。JICAボランティアは、1998年から2名の短期隊員を含め、12名が派遣されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同学院日本語科には約50名の学習者が在籍し、JICAボランティア2名(1人当たり2時間×6コマ/週)、現地講師1~2名の3~4名体制で日本語コースを運営してきた。以前より現地講師主体の日本語教育への移行が課題となっており、現在現地講師3名の正規雇用が予定されている。2011年2月より開始した現地講師主体の授業運営を定着させるため、経験のある日本語教師の派遣が求められている。2011年10月以降、JICAボランティア不在期間が生じる予定であり、現地講師のみによる運営実施体制整備が急務となっている。 同大学には、2002年に国際交流基金との協力により、文学部日本語学科が設立されている。
	2) 期待される具体的業務内容 同僚の協力隊員・現地講師と協力して、以下の活動を行う。 1. 日本語コース(受講者1人当たりの受講時間 2時間/1コマ×3コマ/週の2.5ヶ月コースを年に4期開講)の運営(午後3時~9時開講) 2. 他の日本語教育機関(ダマスカス大学日本語学科、アレppo大学日本センター)と共催する日本語スピーチコンテストの企画・運営 3. ダマスカス大学で開催する日本フェアの企画・運営 4. 現地講師育成
要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 みんなの日本語(教材・CD・DVD)、副教材や日本語関連の書籍、辞書、日本語の雑誌、TV、ビデオデッキ、CDデッキ、白黒コピー機、日本語入力可能なパソコン
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 言語学院長: 50歳代男性(仏語教授) 諸外国語科長(12言語担当): 40歳代女性(仏語教授) 非常勤講師: 20~30歳代女性2名、20歳代男性3名 学習者: 18歳~50歳の男女約50名

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段)	6) 選考指定言語
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴(大卒 ) (業務関連分野) 学歴理由:(大学機関で教授するため ) ・経験(実務経験 ) (2年以上) 経験理由:(現地講師育成のため ) ・日本語教授法 理由:(現地講師育成のため )	アラビア語 ( ) アラビア語 (シリア方言 )	☑ 英語 (レベル: B) ☐ (レベル: )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(ステップ気候 ) 気温( 0-40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
----------	---



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期( ●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期( ○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 8 日

要請番号( JL 442-11-A-13 )		調査者名: 大村 晴子				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
シリア	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ●交替 6代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目 日本語教育			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	23 / 4	
指導科目(英) Japanese Language Education	3	24 / 1				
開発課題 基礎教育の拡充						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Education					
	2) 配属先名 (日本語) ダマスカス大学高等言語学院日本語科 (英語) Japanese Language Section, Higher Language Institute of Damascus Univ.					
	3) 任地 ダマスカス 首都( ダマスカス )から 西 方向 5 Km 主要都市( ダマスカス )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.2 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国最大規模の総合大学であるダマスカス大学に付属する同学院は、大学生・一般社会人を対象とした外国語教育機関で、1988年設立。現在、日本語を含む14の言語の教育を行っている。同学院日本語科は、ダマスカスで一般人が日本語を学べる唯一の場である。現在、東京外国語大学、大阪大学等とも提携があり、日本へ留学する学生もいる。JICAボランティアは、1998年から2名の短期隊員を含め、12名が派遣されている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同学院日本語科には約50名の学習者が在籍し、JICAボランティア2名(1人当たり2時間×6コマ/週)、現地講師1~2名の3~4名体制で日本語コースを運営してきた。以前より現地講師主体の日本語教育への移行が課題となっており、現在現地講師3名の正規雇用が予定されている。2011年2月より開始した現地講師主体の授業運営を定着させるため、経験のある日本語教師の派遣が求められている。2011年10月以降、JICAボランティア不在期間が生じる予定であり、現地講師のみによる運営実施体制整備が急務となっている。 同大学には、2002年に国際交流基金との協力により、文学部日本語学科が設立されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 同僚の協力隊員・現地講師と協力して、以下の活動を行う。 1. 日本語コース(受講者1人当たりの受講時間 2時間/1コマ×3コマ/週の2.5ヶ月コースを年に4期開講)の運営(午後3時~9時開講) 2. 他の日本語教育機関(ダマスカス大学日本語学科、アレppo大学日本センター)と共催する日本語スピーチコンテストの企画・運営 3. ダマスカス大学で開催する日本フェアの企画・運営 4. 現地講師育成					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 みんなの日本語(教材・CD・DVD)、副教材や日本語関連の書籍、辞書、日本語の雑誌、TV、ビデオデッキ、CDデッキ、白黒コピー機、日本語入力可能なパソコン					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 言語学院長: 50歳代男性(仏語教授) 諸外国語科長(12言語担当): 40歳代女性(仏語教授) 非常勤講師: 20~30歳代女性2名、20歳代男性3名 学習者: 18歳~50歳の男女約50名		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 ( ) アラビア語 (シリア方言)		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レバノール: B) ☐ (レバノール: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( )性別理由:( ) ・学歴(大卒 ) (業務関連分野) 学歴理由:(大学機関で教授するため) ・経験(実務経験 ) (2年以上) 経験理由:(現地講師育成のため) ・日本語教授法 理由:(現地講師育成のため) 理由:( )					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					X	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地 況域	気候(ステップ気候 ) 気温( 0~40℃位)		電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)	水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)		
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)					



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 7 日

要請番号( JL 763 - 11- A- 04 )

調査者名: 田口 信二

国名	職種/指導科目 (コード 6852 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウズベキ スタン	職種 日本語教師 指導科目	○新規 ●交替 5 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	/
				3	/

開発課題 教育

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 司法省 (受入機関名)(英語) Ministry of Justice
	2) 配属先名 (日本語) タシケント法科大学 (英語) Tashkent State Law Institute
	3) 任地 タシケント 首都( タシケント )から 北 方向 0 Km 主要都市( タシケント )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) タシケント法科大学は旧タシケント国立大学法学部を母体として1991年に設立され、国内で唯一の法曹人材養成機関。3学部と大学院があり学生数は約550人。大学内に、名古屋大学との共同プロジェクトから成る日本法研究センターがあり、現地講師、名古屋大学派遣の日本人講師、JICAボランティアの計7名で、日本語で日本法の研究が出来る人材育成を目標として協力している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本法研究センターは2005年に設立され、2008年にやっと初期グループが名古屋大学に留学し始めたばかりであるが、2011年から次期の5年間で日本法研究センター運営をウズベキスタン側へ移管させることが最重要課題となっている。4年次終了時に名古屋大学大学院生となり日本法を研究できるようになるために、現地講師と協力したボランティアによる支援が求められている。
	2) 期待される具体的業務内容 2012年9月の新学年の特別クラス生徒募集に併せて、他の教員と協力しながら以下の活動を行う。担当するクラスは、配属先と協議して決定する。 1. 1年～4年次の学生を対象とした、週4～5コマの初級～上級日本語授業の実施 2. 日本語教育勉強会等の実施及び、現地日本語教師の授業の補佐 3. 学内弁論大会や日本文化紹介講座の企画、実施 4. ウズベキスタン日本語教師会の活動(日本語弁論大会、日本語能力検定試験)へのアドバイス
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ビデオ、CDラジカセ、DVDプレーヤー、パソコン、スキャナー、コピー機、プロジェクター

要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本人法学教師1名(20歳代、男性) 日本人日本語教師1名(30歳代、女性) 現地人日本語教師3名(20歳代、男女)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ウズベク語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	--	------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( )性別理由:( ) ・学歴(大卒)( )学歴理由:(対象者が大学生のため) ・経験(社会経験)(5年以上)経験理由:(日本の社会制度の知識も必要とされるため) ・日本語教授法理由:( )
------------------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(ステップ) 気温( -15～+35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
--------	---



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日育 ○SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 9 日

要請番号( JL 006 - 11 - A - 01 )

調査者名: 末満広志

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 理科教師 (コード 6901 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			3	24 / 1
年 月 日 から					
開発課題 貧困削減					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education				
	2) 配属先名 (日本語) バルー第一中学校 (英語) Barru 1 National Junior High School				
	3) 任地 南スラウェシ州バルルー県 首都( ジャカルタ )から 東 方向 1300 Km 主要都市( マカッサル )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 創立1959年の公立中学校で、地域内37校ある中学校の授業研究のモデル校として位置づけられている。教員数57名、スタッフ13名。日本と同様に小学校6年間を修了した生徒が対象。男女共学の3年制。生徒数900名。生徒の年齢は11~16歳。クラス数は26。1クラスあたり35名程度。理科は週5コマ。1コマは40分間。学科時間は月曜~土曜で毎日午前7時半~12時半まで。学年は7月開始、6月修了。2学期制。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) インドネシアの理科教育は、2004年にカリキュラムの改訂により従来の生物、物理に化学を加えた「総合理科」の導入が決定された。しかし当校では化学の授業をできる教師がいない。また理科の実験を指導できる教師もいない。さらに教師の授業欠席などモラル意識が低い教師も多い。教科書の棒読みのみや理論を記憶させるのみの授業が多く、多くの生徒が理科嫌いになってしまっている。 生徒への問いかけを入れ、実験を取り入れた授業計画を策定・実施することにより、生徒たちの興味を引き、理解を深め、その結果として理科の好きな生徒を増やすことを目的に、隊員派遣要請がなされた。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 一教師として理科(化学・物理・生物、特に化学)の授業を担当する。 2. 生徒への問いかけや身近な物を使った実験を取り入れた授業を展開し、理科好きの生徒を増やす。 3. 同僚の教師とチームティーチングを実施し、生徒が楽しく学べる指導法を同僚に覚えてもらう。 4. 県教育局や近隣派遣の隊員などと協働して、教科研究会など地域一帯の教育の改善に協力する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 白板、物理用実験室、生物用実験室、PC100台、プリンター、インターネット環境				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科教師6名(男3名、女3名、35-55歳)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(中・理 )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴( ) ( ) 学歴理由:( ) ・経験(実務経験)(3年以上) 経験理由:(配属先からの要請事項 理由:( ) 理由:( )				
活動用交通手段の必要性 ○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			研修等	形態	現職教員特別参加制度 ◎
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(熱帯 ) 気温( 25~30℃位℃位)		電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
電話 <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )					



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 9 日

要請番号( JL 006 - 11- A- 02 )

調査者名:末満広志

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
インドネ シア	職種 理数科教師 指導科目 (コード 6901 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			1 23 / 3	2 23 / 4

開発課題 貧困削減

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2)配属先名 (日本語) センカン第六中学校 (英語) Senkang 6 National Junior High School
	3)任地 南スラウェシ州ワジョ県 首都( ジャカルタ )から 東 方向 1300 Km 主要都市( マカッサル )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 創立1960年の公立中学校で、授業研究のモデル校として位置づけられている。教員数32名、スタッフ12名。日本と同様に小学校6年間を修了した生徒が対象。男女共学の3年制。生徒数300名。生徒の年齢は11~16歳。クラス数は11。1クラスあたり30名程度。理科は週4コマ。1コマは40分間。学科時間は月曜~土曜で午前7時半~12時半まで。学年は7月開始、6月修了。2学期制。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) インドネシアの理科教育は、2004年にカリキュラムの改訂により従来の生物、物理に化学を加えた「総合理科」の導入が決定された。しかし当校では化学の授業をできる教師がいない。また理科の実験を指導できる教師もいない。さらに教師の授業欠席などモラル意識が低い教師も多い。教科書の棒読みのみや理論を記憶させるのみの授業が多く、多くの生徒が理科嫌いになってしまっている。 生徒への問いかけを入れ、実験を取り入れた授業計画を策定・実施することにより、生徒たちの興味を引き、理解を深め、その結果として理科の好きな生徒を増やすことを目的に、隊員派遣要請がなされた。
	2)期待される具体的業務内容 1. 一教師として理科(化学・物理・生物。特に化学)の授業を担当する。 2. 生徒への問いかけや身近な物を使った実験を取り入れた授業を展開し、理科好きの生徒を増やす。 3. 同僚の教師とチームティーチングを実施し、生徒が楽しく学べる指導法を同僚に覚えてもらう。 4. 県教育局や近隣派遣の隊員などと協働して、教科研究会など地域一帯の教育の改善に協力する。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 白板、理科用実験室

要 請 概 要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科教師4名(男2名、女2名、28-40歳)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( )	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	---	-------------------------------------	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許(中・理 )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴( ) ( ) 学歴理由:( ) ・経験(実務経験 )(2年以上 ) 経験理由:(配属先からの要請事項 理由:( ) 理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯 ) 気温( 25~30℃位℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期( ●JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期( ○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 9 日

要請番号( JL 006 - 11 - A - 03 )

調査者名: 末満広志

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
インドネ シア	職種 理数科教師 (コード 6901 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3	年 月 から
	指導科目			2	23 / 4	
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			3	24 / 1	

開発課題 貧困削減

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2) 配属先名 (日本語) ルンビア第一中学校 (英語) Rumbia 1 National Junior High School
	3) 任地 南スラウェシ州ジェネポント県 首都( ジャカルタ )から 東 方向 1300 Km 主要都市( マカッサル )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 創立1990年の公立中学校で、授業研究のモデル校として位置づけられている。教員数29名、スタッフ4名。日本と同様に小学校6年間を修了した生徒が対象。男女共学の3年制。生徒数500名。生徒の年齢は11~16歳。クラス数は13。1クラスあたり40名程度。理科は週4コマ。1コマは40分間。学科時間は月曜~土曜で午前7時半~12時半まで。学年は7月開始、6月修了。2学期制。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) インドネシアの理科教育は、2004年にカリキュラムの改訂により従来の生物、物理に化学を加えた「総合理科」の導入が決定された。しかし当校では化学の授業をできる教師がいない。また理科の実験を指導できる教師もいない。さらに教師の授業欠席などモラル意識が低い教師も多い。教科書の棒読みのみや理論を記憶させるのみの授業が多く、多くの生徒が理科嫌いになってしまっている。 生徒への問いかけを入れ、実験を取り入れた授業計画を策定・実施することにより、生徒たちの興味を引き、理解を深め、その結果として理科の好きな生徒を増やすことを目的に、隊員派遣要請がなされた。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 一教師として理科(化学・物理・生物。特に化学)の授業を担当する。 2. 生徒への問いかけや身近な物を使った実験を取り入れた授業を展開し、理科好きの生徒を増やす。 3. 同僚の教師とチームティーチングを実施し、生徒が楽しく学べる指導法を同僚に覚えてもらう。 4. 県教育局や近隣派遣の隊員などと協働して、教科研究会など地域一帯の教育の改善に協力する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 白板、理科用実験室、PC(教師用数台)、LCDプロジェクタ、プリンタ

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科教師4名(男2名、女2名、28-40歳)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
--	---	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許(中・理 )・性別( )性別理由:( )
	・学歴( ) ( )学歴理由:( )
	・経験(実務経験)(2年以上)経験理由:(配属先からの要請事項理由:( )理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地 気候(熱帯 ) 気温( 25~30℃位℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )
況域 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 2 月 9 日

要請番号( JL 006 - 11- A- 17)

調査者名: 池上 実

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 理数科教師 指導科目 (コード 6901 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 4
				3	24 / 1

開発課題 東部インドネシア開発

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2) 配属先名 (日本語) バジェン第1中学校 (英語) Bajeng Secondary School 1
	3) 任地 南スラウェシ州ゴワ県 首都( ジャカルタ )から 東 方向 1300 Km 主要都市( マカッサル市 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) バジェン第1中学校: 生徒数723人(男子319人、女子404人)、教員数51人(物理3人、生物3人) (巡回校/①パラング第1中学校: 生徒数1209人(男子537人、女子636人)、教員数68人(物理6人、生物9人))

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ゴワ県では2004年より新カリキュラムが導入された。しかし総合理科(生物・物理・化学)については、化学専門の教員配備はできておらず、生物もしくは物理の教員が各教科書の中の化学のチャプターを教えている。新カリキュラムの導入に際しては、州・中央レベルで教授法や評価法に関する研修が実施されたが、地方の多くの教員は限られた研修しか受けておらず、化学を教えることに対する知識や技術の不足を感じている。このため、チームティーチングを通じ、同僚教師を支援できる協力隊員の派遣が要請された。
	2) 期待される具体的業務内容 バジェン第1中学校をベースに以下のような活動を行うことが期待されている。 ①カリキュラム2004に対応した理科/化学実験・教授法の指導。高価な機材や機器ではなく、身近な資機材を利用してできる実験法を示すことで生徒の理科に対する興味を深める。 ②学校内や地域の教科研究会(MGMP)の活性化に向けた活動 ③教員と協力しながら新カリキュラムに対応した教材開発を行う。 また、必要に応じて巡回校であるパラング第1中学校に対し、理科実験などの実施支援を行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡、ピーカー、フラスコ、ビュレット、スポイト等、理科実験に必要な機材

要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員の化学における知識は乏しいが、各校ともに校長は熱意を持って学校運営に取り組んでおり、教員もJOCVの持つ技術や指導法を学ぶ意欲は持っている。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	--	--------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(中・理 )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴( ) ( ) 学歴理由:( ) ・経験(実務経験)(3年以上) 経験理由:(配属先からの要望理由:( )理由:( ))
------------------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯雨林 ) 気温( 30℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--





平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

要請番号( JL 006 - 11 - A - 19 )

調査者名: 間澤 友紀子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 理数科教師 (コード 6901 )	○新規 ◎交替 3代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	24 / 1
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 貧困削減

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2) 配属先名 (日本語) マラン公立第二中学校 (英語) Malang National Junior High School
	3) 任地 東ジャワ州マラン 首都( ジャカルタ )から 東 方向 400 Km 主要都市( マラン )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 地方都市マランに位置する公立中学校である。生徒総数1113名。職員総数78名。 経済的に恵まれない子供たちのために、教育の場も提供しており、現在、約350名在籍している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) インドネシアの理科教育は、2004年にカリキュラムの改訂により従来の生物、物理に化学を加えた「総合理科」の導入が決定されたが、同校では未だに総合理科の導入は遅れている。現在活動中の隊員は、物理と生物の指導をしながら、遅れている化学の導入を試みている。実験を取り入れた授業計画を策定・実施することにより、生徒たちの興味を引き出し、理解を深めることを目指した活動に取り組んでいる。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理科(生物・物理・化学)のいずれか(もしくは複数)を担当する。 2. チームティーチングで授業を担当し、生徒を直接指導するほか、教師陣の教授能力の向上を図る。 3. 地域の教員勉強会への参加。 身近な材料で可能な実験を提案できれば望ましい。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実験室
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 8名(30代~50代である)
	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( ) ( )
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許(中・理 )・性別( )性別理由:( )
	・学歴( ) ( )学歴理由:( )
	・経歴(実務経歴 ) (5年以上) 経歴理由:(配属先の要望による。理由:( )理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯雨林 ) 気温( 25~30℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 7 日

要請番号( JL 012-11-A-01)

調査者名:後藤 晃

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィリ ピン	職種 理数科教師 (コード 6901 ) 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 4
				3	24 / 1

開発課題 基礎的社会サービスの拡充(貧困層を取り巻く生活環境の改善)

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局 (受入機関名)(英語) NEDA-PNVSCA
	2)配属先名 (日本語) 教育省バイス市事務所 (英語) Department of Education - VII, Division of Bais
	3)任地 東ネグロス州 バイス市 首都( マニラ )から 南東 方向 650 Km 主要都市( ドゥマゲツテ市 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は市内の小学校35校・中等学校17校に対し、カリキュラム全般の計画と実施・監督指導を行っている。また、学校運営、教員研修、学力テストの実施・分析、教職員の人事などを円滑に行うべく他関係機関との調整を行っている。年間予算は約2,500万円。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) バイス市内の中等学校にいる70人前後の理科教師の内、約半分の教師がノンメジャーと言われる元来理科系学部でなく文系の卒業生であり、研修が必要となっている。一方メジャーと言われる理科の教師であっても生徒本意の授業ではなく、これまで受けてきた教師からの一方通行の教育法から抜け出せないと言う課題がある。そのため理科教員の指導力向上への支援活動が期待され隊員の要請となった。	
	2)期待される具体的業務内容 ① 教員対象の教科内容・指導法、実験器具の正確な使用法、自作教材の普及などの理科教育の質的向上に向けた支援活動。 ② サイエンスショーやワークショップの実施など理科教育の面白さ奥深さを生徒、先生方に伝える活動。 比国の制度及び教員支援という観点から隊員が直接定期的に授業を受け持つことはできない。あくまで、学校巡回をしながら模擬授業や授業観察を通して、教員の指導力の向上に努める活動になる。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 配属先事務所にある一般事務機器(コピー機、印刷機、インターネットなど)、視聴覚機材など。	
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 事務所長 60歳代(男性) 算数指導主事1名 60歳代(男性) 理科指導主事1名 50歳代(女性) 主たるC/P	5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 (セブアノ語 )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許(中高・理数 )・性別( ) 性別理由:( )	・学歴( ) ( ) 学歴理由:( )
	・経験(実務経験 ) (3年以上 ) 経験理由:(生徒指導経験、教育に関する知識は必須理由:( )理由:( )	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輜 ●単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯性 ) 気温( 20-35℃位) 電気(□安定 ●不安定 □なし) 電話(●インターネット可 ●通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ●不安定 □なし)
----------	---



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 23 日

要請番号( JL 021 - 11 - A - 01 )		調査者名: 小杉 尚子				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
カンボジ ア	職種 理数科教師 指導科目	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			1	23 / 3	年 月 から
				2	23 / 4	
	3	24 / 1				
開発課題 教育分野への支援						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport					
	2) 配属先名 (日本語) ストゥントレン州小学校教員養成校 (英語) Provincial Teacher Training Center, Stung Treng					
	3) 任地 ストゥントレン 首都( ブンペン )から 北東 方向 480 Km 主要都市( ブンペン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 7 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 高校卒業後に入学する2年制の小学校教員養成校で、学生はストゥントレン、ラタナキリ、モンドルキリの3州から集まってきている。教職員数34名。現在1年生165名、2年生163名(各5クラス)がクメール語、数学、理科、社会、英語、心理学、体育などを学んでいる。付属小学校併設。また敷地内には学生寮があり、一部の学生はここで共同生活を送っている。イギリスVS0のボランティア1名が、教授法の支援を行っている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校の理科教官はJICAの理科教育改善プロジェクトで実施された研修会に参加しており、授業に実験や実習を取り入れようという意欲や、授業づくりを改善しようという積極的な姿勢が見られている。そこで同僚教官の実験・実習授業をサポートし、生徒が主体的に考え取り組めるような授業展開を提案するため、同校校長より隊員を要請された。また同校は教科ごとに教室を分けているため理科室はあるものの、実験器具や教材等はほとんどない。そのため教材や簡易な実験器具の作成など、学習環境の整備も求められている。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. 小学校理科のカリキュラムの中で実施可能な実験・実習を同僚教官とともに計画し、実施する。 技術的な指導だけでなく、実験や実習を効果的に用いた授業作りを提案し、指導する。 2. 学生が赴任する小学校には実験器具はほとんどないため、身の回りのものを活用した実験・実習教材を考案し、同僚教官や学生に紹介する。 3. 他の理数科教師隊員とともに理科の研修会を企画し、実施する。 隊員が派遣されていない州の教員養成校教官や、付属小学校・近隣の小学校教諭に対する研修会の実施も期待される。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 地球儀、台ばかり、温度計、ガスコンロ、鍋、定規、三角定規、分度器、マッチ					
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長 58歳男性、教頭 58歳男性 教職員 34名(女性11名) 理科教官 40代男性(指導経験20年) 36歳男性(指導経験16年)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )	
	資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(中・理 )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴( ) ( ) 学歴理由:( ) ・経験(実務経験) (5年以上) 経験理由:(教員養成校での勤務となるため) 理由:( ) 理由:( )					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車					◎	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地 況域	気候(熱帯モンスーン) 気温( 25~40℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期( ●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期( ○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 23 日

要請番号( JL 021 - 11 - A - 02 )

調査者名: 小杉 尚子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
カンボジア	職種 理数科教師 指導科目 (コード 6901 )	○ 新規 ● 交替 4 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			1 23 / 3	年 月 から
				2 23 / 4	
				3 24 / 1	

開発課題 教育分野への支援

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2) 配属先名 (日本語) タケオ中学校教員養成校 (英語) Regional Teacher Training Center, Takeo
	3) 任地 タケオ 首都( プンペン )から 南 方向 80 Km 主要都市( プンペン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 全国に6校ある2年制の中学校教員養成校のうちの1つ。1年生193名、2年生184名、教員数56名(うち女性7名)。学生はタケオ州のほかカンボット州など4州から集まってきている。学生は卒業後、理数科、クメール語、英語、社会、家庭科などの教員として教壇に立つ。現在、米ピースコーから英語のボランティアが1名派遣されている。日本大使館の草の根無償資金協力により、理科実験棟が建設された(2009年)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2008年から実施中のJICA理科教育改善計画プロジェクトやこれまでに派遣された隊員により、同校の理科教官の多くは実験や実習の大切さを理解してきている。前の二代は生物を中心に、現在派遣中の隊員は物理を中心に実験道具の作成や授業での活用方法を、同僚教官にアドバイスしている。しかし未だ教官による技術の差が大きいため、今後も引き続き実験や実習のノウハウを指導して欲しいと理数科教師隊員の派遣を要請された。今後は物理に加え、特に教官の理解度が低い地学分野での支援を求めている。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 同僚教官とともに物理・地学の実験や実習を計画・立案し、実施する。また学生が赴任する各中学校では実験道具や材料が十分ではないので、身の回りにあるものを工夫して実施可能な実験を提案する。 2. 実験室の整備を行い、実験器具や薬品の安全な取り扱い方を同僚教官及び学生に指導する。 3. 他の教員養成校に派遣されている理数科教師隊員やJICA専門家とともに理科教育向上を目的としたワークショップ等を計画・立案し、実施する。今後は教育実習先の中学校を中心に、現職教員に対する研修会の実施も期待される。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室、準備室、顕微鏡、ガラス器具、虫眼鏡、温度計、気圧計、電子天秤、バネばかり、懐中電灯、定規、分度器、コンパス、岩石標本、磁石、豆電球、方位磁針、各種薬品、地球儀など

要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長、教頭(ともに男性) 物理2名 55歳、27歳(ともに男性) 地学1名 30代(女性) 生物、化学各2名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(中・理 )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴( ) ( ) 学歴理由:( ) ・経験(実務経験 ) (5年以上 ) 経験理由:(教員養成校での勤務となるため ) 理由:( ) 理由:( )		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯モンスーン ) 気温( 25~40℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
------	--



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 23 日

要請番号( JL 021 - 11 - A - 03 )

調査者名: 小杉 尚子

国名	職種/指導科目 (コード 6901 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
カンボジア	職種 理数科教師	○新規	◎2年	1	23 / 3	
	指導科目			◎交替	2	23 / 4
	職種(英) Science & Mathematics Education				3	24 / 1
ア	指導科目(英)	3代目	○ヶ月			

開発課題 教育分野への支援

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2) 配属先名 (日本語) シハヌークビル州小学校教員養成校 (英語) Provincial Teacher Training Center, Sihanoukville
	3) 任地 シハヌークビル 首都( プンペン )から 南西 方向 200 Km 主要都市( プンペン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1980年に創設された2年制の小学校教員養成校で、学生は高校を卒業後に入学してくる。現在1学年50名(2クラス)、2学年49名(2クラス)が在籍し、クメール語、英語、コンピュータ、算数、理科、体育、社会(音楽、図工など)を学んでいる。同じ敷地内に付属小学校が併設されている。現在、小学校教諭(情操教育)と理数科教師隊員が活動を行っている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2007年に理科担当の同校教員がJICAの青年研修に参加し日本で研修を受けたことで、実験を通して理論を理解することの大切さや授業内容の改善の必要性について認識した。また二代のボランティア派遣により実験技術は向上したものの、実験を効果的に授業へ取り入れるノウハウや、結果から考察を導く手法は未だ不足している。そこで実験や実習を取り入れた授業作りを引き続き指導して欲しいと、ボランティアが要請された。これまで同校には理数科及び情操教育の分野で6名のJICAボランティアが派遣されてきたことから、ボランティアへの理解はあり活動に対する期待も大きい。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 小学校理科のカリキュラムの中で実施可能な実験・実習を同僚教員とともに計画し、実施する。 技術的な指導だけでなく、実験や実習を効果的に用いた授業作りを提案し、指導する。 2. 学生が赴任する小学校には実験器具はほとんどないため、身の回りのものを活用した実験・実習教材を考案し、同僚教員や学生に紹介する。 3. 他の理数科教師隊員とともに理科の研修会を企画し、実施する。 隊員が派遣されていない州の教員養成校教員や、付属小学校・近隣の小学校教諭に対する研修会の実施も期待される。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科室はない。顕微鏡、水槽、各種薬品、ガラス器具、地球儀、虫眼鏡、台ばかり、パネばかり、温度計、磁石、懐中電灯、ガスコンロ、鍋など

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長、教頭(ともに男性) 教員24名(男性19名、女性5名、30代中心) 理科教員 男性2名(授業を持っているのは、日本で研修を受けた1名のみ)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(中・理 )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴( ) ( ) 学歴理由:( ) ・経歴(実務経歴)(5年以上) 経歴理由:(教員養成校での勤務となるため) 理由:( ) 理由:( )		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯モンスーン) 気温( 25~40℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
地域	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期( ●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期( ○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 23 日

要請番号( JL 021 - 11 - A - 05 )

調査者名: 小杉 尚子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジア	職種 理数科教師 (コード 6901 ) 指導科目	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	23 / 4
				3	24 / 1

年 月 から

開発課題 教育分野への支援

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2) 配属先名 (日本語) コンボンチャム中学校教員養成校 (英語) Regional Teacher Training Center, Kampong Cham
	3) 任地 コンボンチャム 首都( プノンペン )から 北東 方向 125 Km 主要都市( プノンペン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 全国に6校ある2年制の中学教員養成校の1つ。修了生はコンボンチャム州、クラチェ州、コンポントム州の中学校教員となる。教職員数約40名、学生数は1学年約200名の各7クラス。英語、クメール語、数学、生物、地学、化学、物理、地理、歴史、家政などの専門教員を養成している。現在2代目の理数科教師隊員が活動中。日本大使館の草の根無償資金協力により、理科実験棟が建設された(2009年)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校理科教官は、2008年から実施中のJICA理科教育改善計画プロジェクトやJICA青年研修(日本での約2週間の研修)を受けており、実験を通して理論を理解することの大切さや授業内容の改善の必要性について認識している。またこれまで派遣された二代の隊員は、初代が生物を中心に、二代目は化学を中心に実験道具の作成や授業での活用方法を同僚教官達にアドバイスしてきた。今後は物理、地学分野で実験や実習のノウハウを指導して欲しいと後任隊員の派遣を要請された。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 同僚教官とともに物理・地学の実験や実習を計画・立案し、実施する。また学生が赴任する各中学校では実験道具や材料が十分ではないので、身の回りにあるものを工夫して実施可能な実験を提案する。 2. 実験室の整備を行い、実験器具や薬品の安全な取り扱い方を同僚教官及び学生に指導する。 3. 他の教員養成校に派遣されている理数科教師隊員やJICA専門家とともに理科教育向上を目的としたワークショップ等を計画・立案し、実施する。今後は教育実習先の中学校を中心に、現職教員に対する研修会の実施も期待される。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験室、準備室、顕微鏡、ガラス器具、虫眼鏡、温度計、気圧計、電子天秤、パネばかり、懐中電灯、定規、分度器、コンパス、岩石標本、磁石、豆電球、方位磁針、各種薬品、地球儀など	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長(女性) 物理教官2名: 男性(26歳、30歳) 地学教官1名: 女性(27歳) ほかに生物教官2名(男性)、化学教官2名(女性)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
--	------------------------------------	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)		
	・教諭免許(中・理 )	・性別( )	性別理由:( )
	・学歴( )	( )	学歴理由:( )
	・経験(実務経験 )	(5年以上 )	経験理由:(教員養成校での勤務となるため ) 理由:( ) 理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯モンスーン ) 気温( 25~40℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 23 日

要請番号( JL 021 - 11 - A - 06 )

調査者名: 小杉 尚子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジア	職種 理数科教師 (コード 6901 )	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	指導科目 理科教育			2	23 / 4
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英) Science Education			3	24 / 1
開発課題 教育分野への支援					
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport				
	2) 配属先名 (日本語) シェムリアップ州小学校教員養成校 (英語) Provincial Teacher Training Center, Siem Reap				
	3) 任地 シェムリアップ 首都( ブンペン )から 北西 方向 350 Km 主要都市( シェムリアップ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1980年創設の2年制の小学校教員養成校で、修了生はシェムリアップ州やオッドーミンチェ州の小学校教員となる。教員数46名、学生数は1年生250名(7クラス)、2年生270名(8クラス)。WVOB(ベルギーの援助機関)が農業、BTC(ベルギーのODA)が数学のプロジェクトを実施中。また現在、小学校教諭隊員が情操教育の分野でも活動を行っている。敷地内には農園と付属小学校(児童数約500名)がある。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校校長は教育環境や授業の質の改善について非常に熱心に取り組んでいるが、理科に関しては最も取り組みが遅れていた。しかしこれまで派遣されたシニアボランティア及び隊員によって理科室が設置され、最低限必要な実験器具は揃いつつある。また同校の理科担当教官5名は全員JICAの理科教育改善プロジェクトで実施された研修会に参加しており、授業に実験を取り入れようという意欲も見られ始めている。このように変わり始めた教官の意識が継続され、さらなる理科の授業内容の向上を目指して継続的な支援を行うべく、後任隊員を要請された。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 小学校理科のカリキュラムの中で実施可能な実験・実習を同僚教官とともに計画し、実施する。 技術的な指導だけでなく、実験や実習を効果的に用いた授業作りを提案し、指導する。 2. 学生が赴任する小学校には実験器具はほとんどないため、身の回りのものを活用した実験・実習教材を考案し、同僚教官や学生に紹介する。 3. 他の理数科教師隊員とともに理科の研修会を企画し、実施する。 隊員が派遣されていない州の教員養成校教官や、付属小学校・近隣の小学校教諭に対する研修会の実施も期待される。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科室あり。プロジェクター、冷蔵庫、カセットコンロ、アルコールランプ、顕微鏡、薬品、ガラス器具、浄水器、磁石、豆電球、空気入れ、注射器、銅線、三脚、金網など				
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長(男性)、理科教官は以下5名 女性2名: 30歳代前半(2010年度JICA青年研修参加)、40歳代 男性3名: 30歳、40歳代、50歳代後半		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(中・理 )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴( ) ( ) 学歴理由:( ) ・経験(実務経験)(5年以上) 経験理由:(教員養成校での勤務となるため) 理由:( ) 理由:( )				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車					◎
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況	気候(熱帯モンスーン) 気温( 25~40℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 10 日

要請番号( JL 021 - 11 - A - 11 )

調査者名: 小杉 尚子

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジア	職種 理数科教師 (コード 6901 ) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	2			23 / 4	
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 教育分野への支援

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2) 配属先名 (日本語) ポーサット小学校教員養成校 (英語) Privilcial Teacher Training Center, Pursat
	3) 任地 ポーサット 首都( ブンペン )から 北西 方向 200 Km 主要都市( ブンペン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 中学または高校卒業後に入学する2年制の小学校教員養成校で、修了生はポーサット州の小学校教員となる。校内には付属小学校を併設している。教職員数28名。現在1年生60名(3クラス)、2年生90名(4クラス)がクメール語、数学、理科、社会、英語、心理学、体育などを学んでいる。日本のNGOの援助で図書館が建設された。敷地内には学生寮があり、一部の学生はここで共同生活を送りながら学習している。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校の理科担当教官はJICAの理科教育改善プロジェクトで実施された研修会に参加しており、授業に実験や実習を取り入れようという意欲や、授業方法の改善に対する前向きな姿勢が見られている。そこで実験・実習指導を取り入れた授業を提案・指導するため、理数科教師隊員が要請された。また同校には現在理科室がないため、理科室の設置や実験器具の整理、自作教材の作成など、理科の学習環境の整備も求められている。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理科のカリキュラムに沿って実施可能な実験・実習を同僚教官とともに計画し、実施する。 実施に当たってはカリキュラムの中での位置づけや、授業の中での効果的な取り入れ方についても指導する。 2. 身の回りのものを活用した実験・実習教材を開発し、同僚教官や学生に提示する。 3. 他の理数科教師隊員とともに理科教育向上に関する研修会を企画し、実施する。 教員養成校の教官だけでなく、付属小学校や近隣小学校の教諭に対する研修会の実施も期待される。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 虫眼鏡、温度計、地球儀など、簡易な理科実験道具

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教職員28名(うち女性9名) 校長(男性)、教頭(男性) 理科担当3名(全員女性): 50歳代1名(教務兼任) 40歳代2名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------	---	------------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・ 教諭免許(中・理 ) ・ 性別( ) 性別理由:( )
・ 学歴(大卒 ) (理系 ) 学歴理由:(教科に対する専門的な知識が必要 )
・ 経験(実務経験 ) (5年以上 ) 経験理由:(主として教官に対する指導となるため )
理由:( )
理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況	気候(熱帯モンスーン ) 気温( 25~40℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
地域	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)





平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期( ●JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期( ○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 10 日

要請番号( JL 021 - 11 - A - 12 )

調査者名: 小杉 尚子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジア	職種 理数科教師 (コード 6901 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目 理数科教師			2	23 / 4
	職種(英) Science & Mathematics Education			3	24 / 1
ア	指導科目(英) Science Education				年 月 日から

開発課題 教育分野への支援

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2) 配属先名 (日本語) カンダール小学校教員養成校 (英語) Provincial Teacher Training Center, Kandal
	3) 任地 カンダール州タクマウ 首都( ブンペン )から 南西 方向 10 Km 主要都市( ブンペン )までの交通手段及び所要時間( バイク で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 中学または高校卒業後に入学する2年制の小学校教員養成校で、修了生はカンダール州の小学校教員となる。校内には付属小学校を併設している。教職員数45名。現在1年生120名、2年生118名(各5クラス)が、クメール語、数学、理科、社会、英語、心理学、体育などを学んでいる。2001年まで家政隊員が3代派遣されていた。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校の理科担当教官はJICAの理科教育改善プロジェクトで実施された研修会に参加しており、授業に実験や実習を取り入れようという意欲や、授業方法の改善に対する前向きな姿勢が見られている。そこで実験・実習指導を取り入れた授業を提案・指導するため、理数科教師隊員が要請された。また同校には現在理科室がないため、理科室の設置や実験器具の整理、自作教材の作成など、理科の学習環境の整備も求められている。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理科のカリキュラムに沿って実施可能な実験・実習を同僚教官とともに計画し、実施する。 実施に当たってはカリキュラムの中での位置づけや、授業の中での効果的な取り入れ方についても指導する。 2. 身の回りのものを活用した実験・実習教材を開発し、同僚教官や学生に提示する。 3. 他の理数科教師隊員とともに理科教育向上に関する研修会を企画し、実施する。 教員養成校の教官だけでなく、付属小学校や近隣小学校の教諭に対する研修会の実施も期待される。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 虫眼鏡、温度計、地球儀など、簡易な理科実験道具

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教職員45名(うち女性22名) 校長(女性) 理科担当2名: 40歳代男女(実務経験約10年)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・ 教諭免許(中・理 ) ・ 性別( ) 性別理由:( ) ・ 学歴(大卒 ) (理系 ) 学歴理由:(教科の専門知識が必要) ・ 経験(実務経験 ) (5年以上 ) 経験理由:(主として教官に対する指導となるため) 理由:( ) 理由:( )		

資格条件	活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
	○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地域 気候(熱帯モンスーン ) 気温( 25~40℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 10 日

要請番号( JL 021 - 11 - A - 13 )

調査者名: 小杉 尚子

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
カンボジア	職種 理数科教師 指導科目 (コード 6901 )	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			1 23 / 3	2 23 / 4

開発課題 教育分野への支援

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2) 配属先名 (日本語) バッタンバン小学校教員養成校 (英語) Provincial Teacher Training College, Battam Bang
	3) 任地 バッタンバン 首都( プノンペン )から 北西 方向 260 Km 主要都市( プノンペン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1988年創立。中学または高校卒業後に入学する2年制の小学校教員養成校で、修了生はバタンバン州の小学校教員となる。校内には付属の小学校を併設している。教職員数45名。現在1年生230名、2年生226名が、クメール語、算数、理科、社会、英語、心理学、体育、音楽などを学んでいる。EUや日本のNGOの援助で校舎を建設。VSO(イギリス)が、主として英語教育の支援を行っている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在小学校教諭隊員が理数科分野で派遣されているので、理数科教師としては初代だが、実質的には2代目となる。現在派遣中の隊員によって理科室が設置され、最低限必要な実験器具が揃いつつある。同校の理科担当教官はJICAの理科教育改善プロジェクトで実施された研修会にも参加しており、授業に実験を取り入れようという意欲も見られ始めている。このように変わり始めた教官の意識が継続され、さらなる授業内容の向上を目指して継続的な支援を行うべく、理数科教師隊員が要請された。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 理科のカリキュラムに沿って実施可能な実験・実習を同僚教官とともに計画し、実施する。実施に当たってはカリキュラムの中で位置づけや、授業の中での効果的な取り入れ方についても指導する。 2. 身の回りのものを用いた実験・実習教材を開発し、同僚教官や学生に提示する。 3. 他の理数科教師隊員とともに理科教育向上に関する研修会を企画し、実施する。 教員養成校の教官だけでなく、付属小学校や近隣小学校の教諭に対する研修会の実施も期待される。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基礎的な理科実験器具	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科担当2名 20代男性(実務経験3年) 30代女性(生物専攻、実務経験11年)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( ) ( )

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許(中・理 ) ・性別( ) 性別理由:( )	・学歴(大卒 ) (理系 ) 学歴理由:(教科の専門知識が必要 )
	・経験(実務経験 ) (5年以上 ) 経験理由:(主として教官に対する指導となるため )	理由:( )
		理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(熱帯モンスーン ) 気温( 25~40℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 10 日

要請番号( JL 021 - 11 - A - 15 )

調査者名: 小杉 尚子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジ ア	職種 理数科教師 指導科目 理科教育 (コード 6901 )	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英) Science Education			2	23 / 4
				3	24 / 1

開発課題 教育分野への支援

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2)配属先名 (日本語) バタンバン中学校教員養成校 (英語) Regional Teacher Training Center, Battam Bang
	3)任地 バタンバン 首都( ブンペン )から 北西 方向 290 Km 主要都市( ブンペン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 教員数41名、学生数約750名の2年制の中学校教員養成校。学生はバタンバン州のほか、シムリアップ州などから集まってきている。卒業後は理科教師のほか、数学、クメール語、英語、家庭科などの教師として各中学校に配属される。現在、イギリスVSO及び米国ピースコーのボランティアが1名ずつ、それぞれ教授法と英語の分野で活動を行っている。日本の草の根無償資金協力により理科実験棟が建設された。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) カンボジアにある6つの中学校教員養成校の一つ。JICAの理科教育改善プロジェクトによる研修会やこれまで派遣されてきた隊員により、同校の理科教官の多くは、理論中心の授業から実験や実習を取り入れた授業を実施するようになってきた。現在派遣中の隊員は化学を中心に、既存のカリキュラムに沿った実験をカウンターパートに学んでもらい、また科学クラブの開催等を通じて同校の学生にも実験の重要性を体感してもらっている。今後は特に物理分野において、カリキュラムに沿った様々な実験や実習のノウハウを指導して欲しいと、継続して理数科教師派遣を要請された。
	2)期待される具体的業務内容 1. 同僚教官とともにカリキュラムに沿った実験・実習内容を計画・立案し、実施する。また学生が赴任する各中学校では実験器具や材料が十分ではないので、身の回りにあるものを工夫して実施可能な実験内容を提案する。 2. 実験室の整備を行い、実験器具や薬品の安全な取り扱い方を同僚教官及び学生に指導する。 3. 他の教員養成校に派遣されている理数科教師隊員やJICA専門家とともに理科教育向上を目的としたワークショップ等を計画立案し、実施する。また近隣中学校の現職教員に対する研修会の実施も期待される。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各種薬品、カセットコンロ、顕微鏡、上皿天秤、温度計、乾湿計、磁石、方位磁針、乾電池、試験管、ピーカー、豆電球、水槽、ビニール管等

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長: 女性、教頭: 男性 物理: 女性1名 (30代・経験5年) 男性2名 (30代・経験10年、50代・経験15年) 化学: 男性1名、女性1名	5)業務使用言語 (訓練言語は上段) クメール語 ( )	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(中・理 )・性別( ) 性別理由:( ) ・学歴 (大卒 ) (理系 ) 学歴理由:(教科の専門知識が必要 ) ・経験 (実務経験 ) (5年以上 ) 経験理由:(教員養成校での指導となるため ) 理由:( ) 理由:( )		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			X

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯モンスーン ) 気温( 25~40℃位 )	電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )	水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 3 日

要請番号( JL 024 - 11 - A - 05 )

調査者名: 山根 幸子

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ラオス	職種 理数科教師 指導科目 (コード 6901 )	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			1	23 / 3	年 月 から
				2	23 / 4	
		3	24 / 1			

開発課題 教育環境・アクセス改善、就学阻害要因の軽減及び教育の質の向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) サバナケット県教育局(活動先はウドムピライ中高一貫校) (英語) Provincial Education Service, Savannaket
	3) 任地 サバナケット 首都( )から 南東 方向 450 Km 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( 自転車 で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 県教育局は県内の小・中・高等学校の教育管理、教育の質の向上のためのプログラムの実施と、県内の成人、子どもたちに対する教育機会の提供を行っている。活動先となる中高一貫校は、1~7学年まで揃い、全校生徒約1,400名が在籍する大規模校である。2010年から同県と他2県の小学校教員を対象に、JICAによる「理数科現職教員研修改善プロジェクト (ITSME)」が実施されている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 ラオスにおける算数・数学科に関する課題は深刻であり、小・中学校レベルの基礎知識を十分身につけないまま教壇に立つ教員も多く、したがって生徒の理解力も低い。このことが一般社会のあらゆる分野において足枷となっており、小・中学校の現職教員の知識と指導力の向上は急務であり要請に至った。また、2009/10年度から中学校レベルに相応する学習年数が3年間から4年間となり、カリキュラムや教科書の改訂に伴い、現場教員はその対応、適応に困難を極めている。前任者は、数学科教師とともにチーム・ティーチングや模擬授業等、生徒への直接指導や、授業案作成研修を実施することで、分かりやすい数学授業の紹介を行ってきた。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 数学科教師(特に1~2年担当)の数学に関する知識と指導力の向上のために、助言と指導を行う。  
 2. 生徒の理解力を高めるために、数学科教師(特に1~2年担当)と授業開発を行い、チーム・ティーチング等を行う。  
 3. サバナケット教員養成短大からの教育実習生への助言と指導を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 黒板、文房具類

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ウドムピライ中高一貫校(カッコ内は女性数) 全教員数: 65名(44名)、数学科教員数: 14名(8名) 教員の多くはサバナケット教員養成短大やラオス国立大学出身	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ラオス語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
---	--	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)  
 ・教諭免許(中・数 ) ・性別( ) 性別理由:( )  
 ・学歴(大卒 ) ( ) 学歴理由:( )  
 ・経験(実務経験 ) (5年以上 ) 経験理由:(教員への指導が求められているため )  
 理由:( )  
 理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ○単車 ●自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯モンスーン ) 気温( 15-40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 10 日

要請番号( JL 024-11-A-06 )

調査者名: 山根 幸子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ラオス	職種 理数科教師 (コード 6901 )	○新規 ◎交替 2代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	23 / 4	
指導科目(英)	3	24 / 1				

開発課題 教育環境・アクセス改善、就学阻害要因の軽減、教育の質の向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) トゥラコム郡教育局(活動先はバンケン中高一貫校) (英語) Turakom District Education Bureau(Ban Keun Secondary School)
	3) 任地 ビエンチャン県トゥラコム郡バンケン 首都( ビエンチャン )から 北 方向 68 Km 主要都市( ビエンチャン )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) トゥラコム郡教育局は、郡内の小・中・高等学校の管理、教師の評価、地域PTAとの協議等を行っている。活動先のバンケン中高一貫校は全校生徒約1050人、1~7学年までである完全校である。数学の授業は各学年週5時間行われている。同校は、近隣にある教員養成短大学の教育実習先である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 中高一貫校の現任教員の指導力や指導に必要な知識は十分ではなく、長期的な協力が必要とされており、引き続き隊員の要請となった。前任者は、カウンターパートとのチームティーチングを中心に、数学の授業の質の改善を行ってきた。また、生徒の学習姿勢の改善や学校の環境整備にも努めてきた。
	2) 期待される具体的業務内容 1 数学の指導における教員の指導力向上に努める。 2 身近なものを利用した教具、補助教材の作成と紹介を行い、指導法の改善・生徒の理解力の向上を図る。 3 教員養成短大から来る教育実習生への指導や助言を行う。

要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ホワイトボード、ボードマーカー、文房具
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル バンケン中高一貫校 教員数: 57名 数学教師: 7名 教員の年齢: 23~58歳

要	5) 業務使用言語 (訓練言語は上段) ラオス語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D)
	( )	<input type="checkbox"/> (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由:( )
	・学歴 ( ) ( ) 学歴理由:( )
	・経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由:(教師~指導方法の助言も行なうため。) 理由:( ) 理由:( )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ○単車 ◎自転車			◎

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯モンスーン) 気温( 15-40℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)